

# 大阪消防

## 特集 ALL ABOUT 水上消防署 船艇隊

教えて!!「Jアラート」って? / SNS緊急情報速報サービス / We are Rookies!  
突撃取材!ウチはこんな訓練やってます! / ザ安全管理 / 調査鑑識 / 感謝状贈呈  
CATCH UP WITH AND OVERTAKE / 必読!基礎から学ぶ救急活動!!  
コマンドアイ / The Black History / 緊急立入検査 / こんな声届いています!  
九条みなみの昇任試験問題研究所 / アニマル環状線 / 自衛消防隊紹介

災害概況 / 大阪の消防 NEWS  
女性防火クラブだより / 健康ダイアリー  
救急安心センターおおさかだより  
PLEASE CALM DOWN 英語で話そう  
FROM FIRE STATION / 年間索引

令和4年

3

No.864

月号

食べて遊んで癒されて、  
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ  
至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー（西日本最大236席）

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の  
『アムザ 1000』

笑って  
見送れ  
最終電車！



〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-9-17

団体割引適用で割安！

※③を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

# 消防職員・消防退職者のための保険

**① 消防職員傷害保険**  
団体割引適用 **30%**  
傷害総合保険

募集時期 ■ 7月～8月 2月～3月 2月～4月（新採用プラン）

**② 消防職員医療保険**  
団体割引適用 **30%**  
医療保険基本特約・疾病保険特約・  
傷害保険特約セット団体総合保険

**③ 消防職員賠償責任保険**  
年間保険料 **4,000円**  
救命救急士の  
専門業務も補償！  
公務員賠償責任保険（消防職員危険担保  
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行  
為被害対応費用担保特約条項等付帯）

募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月

**④ 消防職員がん保険**  
団体総合生活保険（がん補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引 **20%**

**⑤ 消防職員介護保険**  
団体総合生活保険（介護補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引 **20%**

**⑥ 消防退職者医療保険**  
団体総合生活保険（医療補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引・積率率による割引適用  
約 **40%**

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会  
損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

SJ20-10632 (2020/12/02)  
20-TC06233 (2020年11月作成)

01：コンテンツ／災害概況	30：感謝状贈呈／アニマル環状線
03：特集 ALL ABOUT 水上消防署 船艇隊	31：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
10：【職務】教えて!!「Jアラート」って？	32：救急安心センターおおさかだより／ こんな声届いています！
13：【職務】SNS緊急情報速報サービス	33：The Black History
15：必読！基礎から学ぶ救急活動!!	35：緊急立入検査
17：突撃取材！ウチはこんな訓練やってます！	36：九条みなみの昇任試験問題研究所
20：CATCH UP WITH AND OVERTAKE	37：PLEASE CALM DOWN 英語で話そう
21：ザ安全管理	38：健康ダイアリー
22：コマンドアイ	39：FROM FIRE STATION
24：調査鑑識	40：年間索引
27：We are Rookies！	
28：大阪の消防NEWS	

## 大阪市の災害概況

### ◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
1月中件数	1	1	18	31	51	2	0	0	10	63
令和4年 1月末累計	1	1	18	31	51	2	0	0	10	63
令和3年 1月末累計	1	1	17	38	57	3	0	0	8	68
累計比較	0	0	1	▲7	▲6	▲1	0	0	2	▲5

### ◎救急概況

	救急出場
1月中件数 (概数)	20,651
令和4年 1月末累計	20,651
令和3年 1月末累計	17,527
累計比較	3,124

### ◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和4年 1月末累計	355	88	0	113
令和3年 1月末累計	356	89	0	100
累計比較	▲1	▲1	0	13



水上消防署には、指揮班、水難救助隊、救急隊、船艇隊（まいしま、ゆうなぎ）が配置されており、水難救助隊は陸上、水上のさまざまな事案に出場します。船艇隊は消防艇にて船舶火災や水難救助事案に出場することもあれば、小型タンク車で、近隣の建物火災や救急支援に出場することもあります。

## The beginning of the day



勤務交代



出場訓練



資器材点検



毎朝9時の勤務交代時には、乗組員の点呼・体操・出場訓練・車両、資器材点検を行い災害出場に備えます。



消火訓練



水難救助訓練



消防庁舎の訓練施設や大阪湾を利用して、消火訓練や水難救助訓練を行い、日々消防技術の錬磨に努めています。

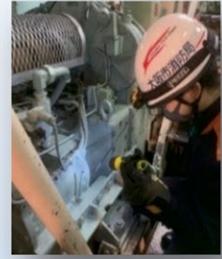
## まいしま点検



操舵室の各機器の点検



主機（エンジン）及び補機（発電機）の点検



主機（エンジン）のオイルの点検

## ゆうなぎ点検



操舵系統の点検



配電盤の点検



補機の点検



船底弁の開放

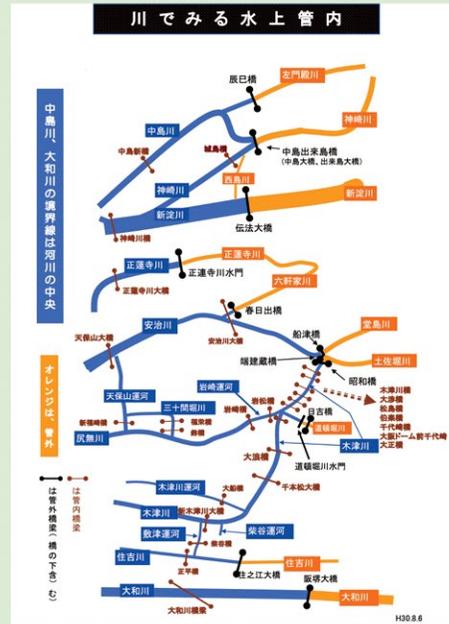


冷却水の循環確認



すばりの点検

## 管轄区域



管轄区域は、市条例により「大阪港（市内河川の第1橋より下流の水面。ただし、木津川については昭和橋下流の水面、木津川運河、三十間堀川については全水面とする。）及び港区のうち天保山運河水面以西の地域」と定められています。

## 帰港時の作業



まいしまが帰港



サンドレッドを（砂の入った錘）投てきし、係船ロープを岸壁に渡す。



係船ロープがボラード（係船柱）に固定されたことを確認し、ロープを絞る。そして固定する。



# まいしま



消防艇まいしまは、平成12年に就航した総トン数158トン、長さ37.8m、船幅7.3m、最高速度は22.3ノットで航行する高性能消防艇。船舶火災ほか海難事故、油流出事故、沿岸の石油貯蔵施設での火災等にも対応します。

## 放水能力

毎分5万L。国内最大規模の艇で、普通消防車の約25台分に相当する最大放水能力。



## 総合情報管理システム

機関の状態、消防装置の作動状態等が一括管理できる。



## ジョイスティック操船

舵やプロペラ等を総合的に制御し操船できる。



## 熱画像解析装置

出火箇所や海面の要救助者を温度分布等により把握できる。



## 自動追尾機能

昼間、夜間（赤外線カメラ、熱画像解析装置併用）を問わず、カメラが海面の遭難者を捜索し自動追尾できる。

## 水没探査装置

海底の状態を立体的に画像に映し出すことにより捜索が行える。

## 救急室

高規格救急医療資器材の医療機器を整備し、防振措置は浮き床構造を採用、壁は防音措置を整備。



## まいしま 諸元

竣工	平成12年3月	航行区域	平水区域
船名	まいしま	主機関	V型ディーゼル機関
全長	37.8m	推進方法	2基2軸
全幅	7.3m	使用燃料	軽油
計画満載喫水	2m	燃料タンク	15,000L
総トン数	158トン	最大放水量	50,000L/min
速力(航海)	18ノット 最大22.3ノット	最大搭載人員	50名

## まいしまの特殊装置等

消防ポンプ	主駆動/25,000 L/min	2台	放水集合装置	75φ×6口	2式
放水砲	電動式/10,000 L/min 電動式/5,000 L/min	2門 4門	泡原液タンク	低発泡用/5,000 L 高発泡用/500 L	2個 1個
放水銃	手動式/200 L/min 油処理用 手動式/400 L/min片舷×4個	2基 2式	油処理タンク	600 L	1個
伸縮放水塔	機械式/シリンダー2段式、 水面上20m	2式	消火用熱画像 解析装置		1式
泡消火装置	低発泡/ポンププロポーショ ナー方式、3%混合型 高発泡/ラインプロポーショ ナー方式、1~3%混合型	2式  2式	水没物探査装置	立体表示機能付	1式
			救助者掲架装置		2式
			可燃性ガス検知装置		1式
流出油処理 装置	ラインプロポーショナー方式。 3%。6%。9%混合型	2式	搭載艇	定員6名	1隻
			小型救命ボート	定員2名	2隻
粉末消火装置	粉末消火剤1,000kg	1式	オイルフェンス張機	B型200m巻	1台
			機材運搬用コンテナ	1.5トン型	4台

## 運用体制

まいしまの乗組員は小隊長、船長、操船員、機関長、機関員、甲板員の計6名で運用しています。船舶火災時は上記乗り組みに加え水上指揮班、水上特別救助隊が乗船し出場します。また、水上ST72（小型タンク車4名乗車 船長、機関長は署待機）との乗り換え運用しており、水上消防署管轄エリアで建物火災に出場するとともに近隣エリアでの水難救助事案の際は水上特別救助隊（4名 内潜水隊員3名）とともに1名は潜水作業、3名は潜水作業の支援隊員として活動します。

### 過去の船舶火災



プレミアムリーエ号火災



エバートラスト号火災

### 私の思い出 田村 将隆



私が水上署に配属されて4年を過ぎた朝、先輩に起こされて、テレビを見ると大型客船が燃えていた。身震いを感じ現場交代後、救助隊長と船底客室の検索を実施。多くの犠牲者を目の当たりにし長時間に及ぶ検索にもかかわらず人命救助には至らなかった。無念さとやるせなさを感じた現場であった。

7年後に阪神淡路大震災を水上署で経験した。署庭で液状化現象による10mの水柱に驚いた。当時携帯電話はなく、災害公衆電話から妻と家族の安否確認に安堵した。12時間以上に及ぶ災害活動に専念した経験は今も忘れることはない。

そして、1年後発生したコンテナ船エバートラストの火災は操船兼情報担当として、消防艇「たかつ」で被災船関係者、関係各機関との連絡調整にあたった。現場で英語版の質問表の必要性を痛感し、後日語学の得意な小隊長と作製の事が思い出される。いずれの場合も、仲間に助けられての現場であった。これからの災害も各々が持ち合わせている力量をその場で発揮していくことが肝要であることに気づかされた災害現場であった。

### 船舶火災（エバートラスト）に出場して 小林 清治



当時、水上消防署の救助隊員として消防艇「まいしま」で出場しました。

当署では、昭和の時代から船舶火災に対応するためジャコップ（縄はしご）で被災船へ進入し消防艇から資器材を吊り上げる訓練を実施していました。「何なんこの訓練」と当時は思っていたのですが、なんと本物の船舶火災がまさにこの訓練どおりで船内進入、放水準備等初期活動がスムーズに実施できました。

消防人生を振り返ればこのエバートラスト号火災が一番の強烈な思い出となりました。被災船甲板上では、火災熱により自身の編上げ靴の底が溶け出し、慌てて冷却放水をし、要救助者の検索にあっては建物火災では体験できない濃煙熱気と沈没の危険性もありずっと恐怖感を覚えていました。5時間にも及ぶ現場活動でしたが、最後には初めて要救助者にレスクマスクを装着して被災船の船底（甲板上から地下2階部分）から岸壁上へ救出できたことは、一生忘れることはない現場経験でした。



「水の都」と呼ばれる大阪市は、西部は海に面しており、市内には縦横に河川や運河が張りめぐらされています。「ゆうなぎ」は、近年の河川における救助件数の増加に対応した水難救助活動や河川・運河の自然水利を活用した消火活動など、市内の内陸まで消防活動領域を拡大できる河川対応型消防艇です。

## 運用体制

ゆうなぎの乗組員は小隊長、船長、機関長（搭載艇長）、甲板員2名の計5名で運用しています。

船舶火災時は上記乗組員に加え港救助隊が乗船し出陣します。また、水上ST225（小型タンク車4名乗車船長は署待機）との乗替運用しており、水上消防署管轄エリアでの火災に出陣します。

## 低橋梁下を航行するための装置

### バラスト装置

両舷に各舷約9.5㎡のバラストタンク（各舷2区画）を装備しており、バラスト水の搭載により、船全体の高さを約0.3m沈めることができる。

### 操舵室屋根昇降装置

操舵室（兼隊員室）屋根を約0.45m下げることができる昇降装置を装備しており、バラスト装置と合わせて、水面上高さを約0.75m下げることができます。

### 起倒式マスト装置

水面上高さ約4.6mのマストは、油圧シリンダー方式により操舵室からの操作で起倒できるようにしています。マストを倒したときは、操舵室の屋根を下げた時の高さより低くなるように設計しています。



バラスト装置及び操舵室屋根昇降装置降下状態



起倒式マスト装置

## 浅瀬や水門の喫水制限に対する対策

河川の浅瀬や道頓堀水門などの喫水制限1.3mに対応するため、推進装置はウォータージェット方式を採用しており、通常航行時の喫水は約1.0mになるように設計しています。また、河川は流木などの漂流物が多く、ウォータージェット方式は船底に突起物が無く、プロペラ方式に比べ損傷回避の面で有利な方式です。

## 放水能力

消防ポンプ（渦巻式ポンプ）毎分7500L/minを2基、船首に2基の電動放水砲（最大5000L/min）を装備しており、船尾に片舷に6個の放水口を所有。両舷に12個の放水口（放水集合管75mm）を装備しています。



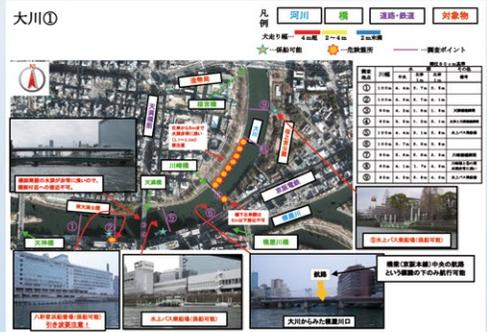
電動放水砲（毎分7500 L/min）

## 搭載艇

船体後方に定員6名の船底がFRP製のゴムボートを搭載しており、本船「ゆうなぎ」の航行が困難な区域での救助活動にも対応できるようにしています。



## 航行支援地図



水上消防署で独自に作成した河川の警防図。災害出場、航行訓練時に水深や橋の高さ等の危険箇所を確認する。



淀屋橋の下を航行する



河川上での放水

## 艇名の由来

船名の「ゆうなぎ」は、その響きから穏やかさが感じられ、市民の皆さんの安全で平穏な暮らしが自然と心に思い浮かんでくる名前であることから、市民の皆さんに応募していただいた船名の中から選ばれたものです。

搭載艇諸元	
全長	4.20m
幅	1.86m
船体質量	198kg
最大搭載人員	6名
船底部材質	FRP
船外機	潜水隊員保護用プロペラガード付、30PS
その他	JCI認定法定備品・灯火装備

ゆうなぎ諸元	
船質	船舶用耐食アルミニウム合金
航行区域	平水区域
船底	単胴V型
総トン数	19トン
全長	19.95m
幅	3.8m (バラストタンク含む全幅5.0m)
深さ	2.0m
計画満載喫水	1m (バラスト水搭載時1.3m)
主機関形式	高速ディーゼル機関
主機関出力	592kw (805PS) × 2
推進機	ウォータージェット × 2
速力(最大)	22.4ノット
航海速度	18.1ノット
航続時間	8時間以上
最大搭載人員	14名

この「ゆうなぎ」によって、海上や特に河川での救助や消火活動が強化され、地震に伴う大規模な災害が発生した場合においても陸上部隊と連携した消防活動を行うことで、市民の安全が守られています。

## モヤイレッコー

## 大阪市初の女性船長 下野 紀子



「乗り組みよければモヤイレッコー」出港時の船長からの合図です。出発準備ができました、係船している網をとってくださいと言う意味です。

初任科の研修で「まいしま」に乗船し、いつか船艇隊に…と希望を胸に抱きました。女性活躍推進が進み、船艇隊員の乗り組みも可能となった平成27年に船艇隊員として水上消防署に配属され、一年間、海の法令、河川の決まり等の知識、操船技術、船長としての心得等の教養を受け、ゆうなぎ船長の命を受けました。

ゆうなぎは、海はもちろん、河川での災害にも出場します。小型船舶免許で操船できるとはいえ、船体は大きく、狭い河川の操船ではとても緊張が続きます。エンジンも繊細で、日々、爪の中どころか指紋まで真っ黒になって皆でメンテナンスをし、出場に備えます。よく「手のかかる子は可愛い」と言いますが、船長は「自船を愛おしく思え」「乗組員を守れ」そうすることで、最大限に船を活用できると学びました。

「乗り組みよければモヤイレッコー！」今日も元気に出航し、阪神港を守っています。

# 船長の思い

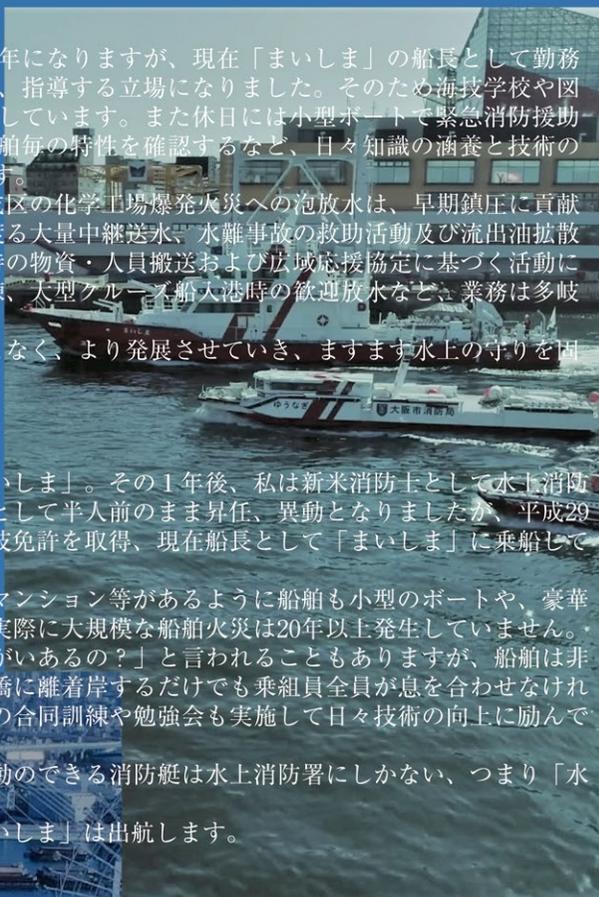


## 1部 まいしま 船長 東 善成

私は水上消防署に配属になって10年になりますが、現在「まいしま」の船長として勤務しています。経験期間は短いながら、指導する立場になりました。そのため海技学校や図書館に通って、研修を繰り返し受講しています。また休日には小型ボートで緊急消防援助隊に出動する時の航路と港、また船舶毎の特性を確認するなど、日々知識の涵養と技術の研鑽に努めながら悪戦苦闘しています。

大型船舶火災は長らく発生していませんが、西成区の化学工場爆発火災への泡放水は、早期鎮圧に貢献しました。また金属スクラップ火災への長時間に渡る大量中継送水、水難事故の救助活動及び流出油拡散活動などに従事しています。その他、大規模災害時の物資・人員搬送および広域応援協定に基づく活動にも対応しています。さらに他機関との船舶合同訓練、大型クルーズ船入港時の歓迎放水など、業務は多岐にわたります。

今後も先輩方から引き継いだ良き伝統を消すことなく、より発展させていき、ますます水上の守りを固めていきたいと思えます。



## 2部 まいしま 船長 長谷川 武

平成12年に竣工された消防艇「まいしま」。その1年後、私は新米消防士として水上消防署に配属されました。当時は甲板員として半人前のまま昇任、異動となりましたが、平成29年に再度水上消防署へ配属となり海技免許を取得、現在船長として「まいしま」に乗船しています。

船舶火災の活動は建物に一軒家やマンション等があるように船舶も小型のボートや、豪華客船、巨大タンカーと活動も様々です。しかし、実際に大規模な船舶火災は20年以上発生していません。このように現場も少ないことから「船長ってやりがいいの?」と言われることもあります。船舶は非常に奥が深く操船技術、航法、天候はもちろん棧橋に離着岸するだけでも乗組員全員が息を合わせなければ事故につながります。また、他都市の消防艇との合同訓練や勉強会も実施して日々技術の向上に励んでいます。

そして一番のやりがいは大阪市消防局に消火活動のできる消防艇は水上消防署にしかない、つまり「水上消防署にしかできない!」ということです。

このやりがいを胸に来るべき船舶火災に備え「まいしま」は出航します。

## 1部 ゆうなぎ 船長 谷口 委宏

水上史に名を残す偉大な船長であった武田龍二氏(当時警防担当司令)の直接指導を授かった初代船長森貴志、二代目船長下野紀子、そして三代目船長を私が務めている。我々3名は恩師の消防艇に対する想い、情熱その全てを継承し今日まで船長のタスキを繋いで来た。

入りは違えど我々に共通して言える事は、師に仕え船艇隊への熱い想いが芽生え又は増幅し、船艇の魅力により一層魅了された者達というところであろうか。

兄弟子達が去った今、末弟の私に課せられた最大の任務は一つ、消防艇の魅力を布教し情熱を持った後継者を養成引継ぐことだ。

小型船舶操縦免許など無くてもいい!

機械音痴でもいい!

ただ…熱い想いだけは忘れずに持参して欲しい!!

2025年の大阪万博を控え、またIR誘致と発展の可能性は底知れず、今後大阪の湾岸地域は大きく変貌を遂げて行くことであろう。

これら時代の荒波をも消防艇で乗り越え、水都大阪の水上の安全と安心を共に守ろう。

集え若人よ!! 担え未来の船長を!!



## 2部 ゆうなぎ 船長 小間坂 直也

私は人を助けたいという思いで消防士になり、救命士を目標としていましたが、紆余曲折し、志半ばで3年前、水上消防署に配属となりました。当時、新たな目標を持っていませんでしたが、第三子が誕生したこともあり、子供から尊敬される消防人となることを第一の目標としました。

そして水上での勤務に慣れ始めた頃、ある事に気が付きました。それはこの署で船舶や潜水に関する資格が無ければ、乗車出来る車両や船舶が限定されることでした。そのことを不甲斐なく思っていました。とにかく出来る事を一生懸命取り組む事にしました。その後、小型船舶の資格を取り、操船の研修期間を終了し、ゆうなぎの船長に命名されました。

ゆうなぎ小隊は災害現場において、直接、救助する事は少ないですが、救助者を支援し、間接的に救助する事を新たな目標とし、まだまだ前任の船長に比べ、未熟な面も多いですが、初心の目標に繋げ、これからも努力し続けて行きます。



## 消防艇の変遷

昭和23年 大消1号艇・2号艇・3号艇および「常盤丸」を府から移管  
 昭和31年 消防艇「明光丸」就航  
 昭和34年 3号艇を改装し「敏動丸」に  
 昭和43年 消防艇「ときわ丸」就航  
 昭和54年 消防艇「なみはや」就航  
 平成2年 消防艇「たかつ」就航  
 平成6年 消防救助艇「ゆめしま」就航  
 平成12年 消防艇「まいしま」就航  
 平成24年 消防艇「ゆうなぎ」就航



明光丸



ときわ丸



なみはや



たかつ



## PIN=UP 船艇隊

歓迎放水



水上出初式 昭和28年～平成9年



三都市合同訓練



消防出初式 平成10年～



## おわりに

大阪港は、物流拠点として大きく発展、平成29年に開港150年を迎えました。海遊館や大観覧車などが開業し一大観光スポットになるとともに、天保山岸壁で進むクルーズ客船の母港化に向けた整備事業後は、各国の豪華客船の寄港が期待され、より一層、大阪の海の玄関口としての役割が高まります。

大阪港の玄関口にある当署は、大型消防艇を有する唯一無二の存在で、沿海航行が可能なため緊急消防援助隊の船艇として出場できる特徴があります。

海という自然が相手のため、時に厳しい場面に遭遇します。

冬の夜間出場は、牙をむく荒波や引き込まれると錯覚するほどの暗黒の海に一瞬、怯む場面もあるでしょうが、プロフェッショナルに仕事を片付けます。

海には日常使用している警防図や車載端末装置のルート案内は、存在しません。

航行に必要な船位・針路・距離等の情報は海図から算出、得た情報は直ちにBRM（ブリッジ・リソース・マネジメント）を実践し消防艇の安全航行に全力を注ぎます。

環境が人を育てます。「何か物足りない」と感じている皆さん、オンリーワンの当署で大きく成長しませんか？

「災害に強いまち・安全な都市」の実現に向け、可能性に満ち溢れた新しい力をお待ちしています。

水上消防署長

中田 和巳



**登場人物**



**ドラゴン兄さん**  
消防署でのお兄さんの存在。消防のことはもちろん、各分野に精通した博識者。



**火野 陽仁**  
独特な感性をもつ若手消防職員。何事にも全力投球を心がけるが、勉強が少し苦手。

※なぜドラゴンと呼ばれているかは追って紹介

**コンテンツ紹介**

大阪市内のある消防署で勤務する火野くんが、ドラゴン兄さんと慕われている先輩職員から様々な知見を吸収し、成長していく短編シナリオです。

〜とある消防署の食堂にて〜

火野くんドラゴン兄さんは、お昼ごはんを食べています。

火野 「テレビの速報ニュースです、ドラゴン兄さん！」  
 ドラ 「!! 弾道ミサイルが、日本のEEZ外に落下したみたいだね」  
 火野 「あー、またですか」  
 ドラ 「確かに。5年ぐらい前から不定期ではあるけど、発射されているね」  
 火野 「困ったものです」  
 ドラ 「そうだね。では、火野くんに質問だ！もし市内に弾道ミサイルが着弾した場

合、消防局はどんな体制で災害対応にあたるのかな？」  
 火野 「全力で災害対応にあたります！」  
 ドラ 「ま、そうなんだけど、いや、火野くん、そういうことじゃなくてね(苦笑)。北朝鮮情勢によって消防局が非常警備体制をとるのは知っているかい？」  
 火野 「え、そうだったんですか!? 知りませんでした、、」  
 ドラ 「それでは良い機会だから、教えてあげよう」  
 火野 「お願いします！」  
 ドラ 「北朝鮮情勢に係る大阪市と消防局の体制については、平成29年の9月に発出された通知で運用しているところなんだ(下表参照)」  
 火野 「なるほどなるほど。Jアラートって、たしか年に数回訓練があつて、アンブと無線で訓練報が流れていますよね」  
 ドラ 「そのとおり。ただ、火野くんが言ってるその訓練っていうのは、消防庁と気象庁が実施する緊急地震速報訓練のこととで、消防局はその受信確認を行っているんだよ」  
 火野 「Jアラートって色んな情報を流しているんですね。もう少し詳しく教えてください」  
 ドラ 「Jアラートっていうのは通称で、正式名称は『全国瞬時警報システム』といって、緊急時に市民に対して迅速かつ確実に情報伝達するために構築されたシステムのことなんだ」  
 火野 「へー、知りませんでした」  
 ドラ 「システムの概要については、対処に時

北朝鮮による大陸間弾道ミサイル発射及び核実験により米期間の緊張が極度に高まり、米軍による軍事的対応や北朝鮮による反撃等の事態が発生するおそれのあるような状況のときの体制	
大阪市	危機事態対策本部設置、会議の実施（全所属長又は関係所属長）
消防局	第5非常警備体制 + 指定職員（消防局職員21名程度）

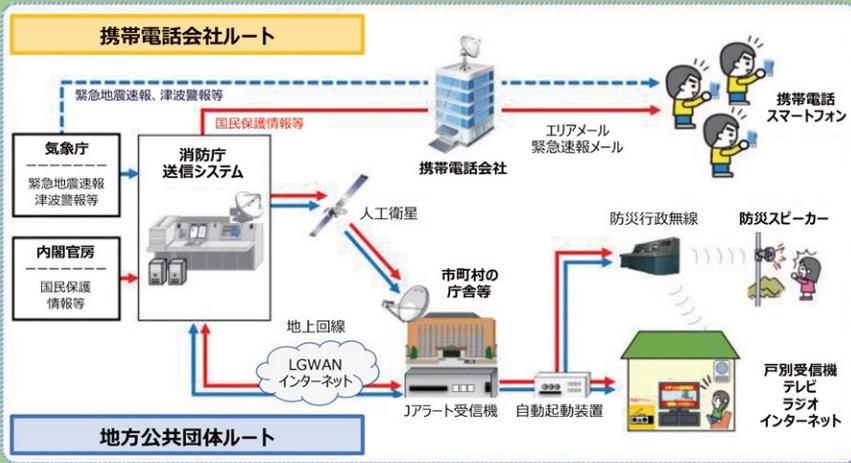
弾道ミサイル等の発射後 Jアラート鳴動による体制		
大阪府でJアラート鳴動	大阪市 ※1	1 危機事態対策本部会議又は危機事態連絡調整会議の開催（全所属長又は関係所属長） 2 情報収集を強化した組織体制とし情報連絡に必要な人員の確保（全所属又は関係所属） 3 危機管理室による情報収集
	消防局	第5非常警備体制 + 指定職員（消防局職員21名程度）
大阪府でJアラートが鳴動せず、他の都道府県で鳴動	大阪市	危機管理担当課長会議※2又は文書による対応等
	消防局	通常体制（情報収集の強化）

※1 大阪市体制は、1～3のどれかの体制とする。  
 ※2 危機管理担当課長会議は、原則として勤務時間外は実施しない。

弾道ミサイル等の発射後日本国内に何らかの被害が発生した時の体制			
大阪市内に被害が発生	大阪市	大阪市	危機事態対策本部設置、会議の実施（全所属長又は関係所属長）
		消防局	大阪市内に着弾：第1非常警備体制（1号非常招集）※2 大阪市内に着弾以外で何らかの被害：第3非常警備体制（3号非常招集）※2
日本国内に着弾 ※1	大阪府	消防局	第3非常警備体制（3号非常招集）※2
	兵庫、京都、和歌山、奈良 （緊援隊第1次出動）	消防局	第3非常警備体制（3号非常招集）※2
	上記以外	消防局	第5非常警備体制 + 指定職員（消防局職員21名程度）

※1 日本国内とは領土領海をいう。  
 ※2 この非常警備体制を基本とするが、被害状況に応じて非常警備体制を増強（減）させることがある。

間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星等を用いて国が送信し、市町村の防災スピーカーや緊急速報メール等によって瞬時に情報が流れるというものなんだ」



火野 「『対処に時間的余裕のない事態に関する情報』って具体的には何ですか？」  
 ドラ 「弾道ミサイル情報等、24種の情報があ  
 るんだけど、大阪市については、その

うち9種(左表赤字)が防災スピーカーから流れる仕組みになっているんだ」

情報の種別	
1	弾道ミサイル情報
2	航空攻撃情報
3	ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
4	大規模テロ情報
5	その他の国民保護情報
6	緊急地震速報
7	大津波警報
8	津波警報
9	気象等の特別警報
10	噴火警報(居住地域)
11	東海地震予知情報
12	東海地震注意情報
13	震度速報
14	津波注意報
15	噴火警報(火山周辺)
16	気象等の警報
17	土砂災害警戒情報
18	竜巻注意情報
19	記録的短時間大雨情報
20	指定河川洪水予報
21	東海地震に関連する調査情報
22	震源・震度に関する情報
23	噴火予報
24	気象等の注意報

火野 「勉強になります。一つ疑問があるので  
 すが、何で消防局のアンプと無線から  
 もJアラートの音声が出てくるので  
 しょうか？」

ドラ 「良い質問だね。Jアラートの受信機は、  
 消防局の指令情報センターにも設置さ  
 れていて、受信すれば消防情報システ  
 ムと自動連携し、アンプと無線が流れ  
 るようになってるんだ。ただし、全  
 ての情報に対してではなくて、『緊急地  
 震速報』とその自動送信機能を確認する  
 ための『訓練報』に限定しているよ」

火野 「活動中や業務中の職員に対する安全管  
 理のためですね」

ドラ 「さすが火野くん、意図をよく理解して  
 いるね。もう一つ理由があって、来庁  
 者の避難行動を促すためでもあるんだ」

火野 「なるほど。ドラゴンさんと一緒にい  
 ると、学ぶべきことが沢山あって、日  
 々成長している気がします。だけど、  
 残念です。次の4月にドラゴンさん  
 が異動されると聞きました。今後何か  
 あると、慌ててしまいそうで不安です」

ドラ 「火野くんなら大丈夫だよ」

ドラ 「我々消防職員は、市民を災害から守る  
 立場にあるから、有事の際、市民と同  
 様に慌ててしまうとプロ失格だ。そう  
 はならないよう火野くんみたいに、日  
 頃から前向きに何でも吸収していく姿  
 勢というのは、新人もベテランも関係  
 なく、とても大切なことなんだ。退職  
 するまで、その姿勢を貫いてくれると  
 嬉しいな」

火野 「了解です！任せて下さい！ところで、  
 ドラゴンさんは、何でドラゴンって  
 呼ばれているんですか？」

ドラ 「下の名前が、竜○だからだと思うよ」  
 火野 「きつとそれだけじゃないですね。仕事  
 に対するパッションが、竜○のように天  
 を目指して上昇し続けているからだと思  
 います！」

ドラ 「ん？どうだろうね？」

火野 「そういう意味では、もはやドラゴンで  
 はなく、シエンロンですよ！  
 シエンロン兄さん爆誕！(※)」  
 ドラ 「相変わらず火野くんは、発言も个性的  
 だねえ！」

おわり

(※) コロコロミック語諸説あり

【ドラ語録】

油断するな飛翔体

可能性はゼロじゃない

有事の際に慌てることがないよう

大阪市消防局国民保護措置計画の  
 中身を理解しておくべし

# SNS緊急情報速報サービス

～ 新たな情報収集ツールに期待！～

## はじめに

大阪市消防局が初めて SNS を活用して情報収集を試みたのは、令和元年に開催された「G20 大阪サミット」がきっかけです。当時、新たな情報収集ツールとして何か有効な手段が無いかと調査した結果、活用することになったのが SNS 緊急速報サービスです。膨大な SNS 投稿の中から必要な災害情報のみが提供される新たな災害情報収集のツールとして SNS におけるサービスの検証を開始し、およそ2年の検討を経て、本年度9月より正式導入し運用を開始した「SNS 緊急情報速報サービス」について紹介します。

SNS 緊急情報速報サービスってどんなサービス？

普通にSNSを調べると何が違うの？

膨大な情報量の SNS の中から、人工知能（以下、「AI」という。）による解析と24時間体制で人間による分析も行っており、リアルタイムな災害や事故等を瞬時に検知すると共に、不必要な情報を取り除くことで、より信憑性の高い緊急情報のみが提供されるサービスです。普通に SNS を調べることとの違いは、先に記載したサービス内容に加えて、投稿情報を AI により解析して位置の特定を行い地図が表示されたり、同一災害を分かりやすくタイトル生成してまとめて表示したりと、災害対応するにあたり実用的なツールです。

他にどのような特徴があるの？

- ・検索機能の充実 … 主要SNS(Twitter・Instagram・Facebook・YouTube・TikTok)の膨大な情報源から検索機能を介して円滑に絞り込むことができ、目当て投稿に迅速に辿り着くことができる。
- ・デマ情報の排除 … AIにより、デマ情報のパターン学習・デマ投稿実績のあるIDブラックリスト化等を駆使してSNS内のデマ情報を排除する。
- ・投稿場所の地図表示 … AIにより、投稿された画像情報(看板、店舗屋号等)・投稿者の位置情報などから解析して、投稿予測場所の地図が表示される。
- ・同一事案の一覧表示 … 膨大な投稿ごとにタイトル生成(見出し)し、同一事案と推測される投稿を案件ごとにまとめて、ユーザーの視認性を向上させている。

## この仕組みをどのように活用するの？

- ・災害発生時や大規模イベント開催時における早期の状況確認
- ・大規模災害(地震、台風、風水害)発生時における情報収集
- ・緊急消防援助隊出場時の被災地状況確認・被災地への経路選択時における活用
- ・過去投稿情報から消防隊到着前の初期の燃焼状況など火災調査の見分に係る参考資料及び現場検討会や研修資料としての活用
- ・広報担当による早期の状況把握、情報収集など、報道対応時における活用

## 画面構成

～一覧画面～ (※  クリックで詳細画面へ)

～詳細画面～



記事リスト一覧

メイン画面 (パネル表示)



地図画面 (AIにて解析)

記事詳細

## 実際の投稿例



火災現場での屋根崩落の瞬間



消防隊到着前の燃焼初期状況



台風来襲時の大阪市内の状況



要救助者

火災現場での逃げ遅れた要救助者の状況 (消防隊到着前)

## まとめ

昨今のSNSを活用した情報ツールにおける発展は目覚ましいものがあり、今や情報の収集や共有を行うメインツールとしての役割を担っていると看做しても過言ではないと思います。特に大阪市のような都市部では、災害が発生した際のバイスタンダーが多く、その様子が投稿される確率は高くなるため情報収集という点では有効であると考えます。

実際に検証を通じて分かったことは、消防隊到着前の災害初期の状況など、今まで見る事ができなかった映像を見ることができました。これにより、災害がどのように発生して推移していったのかが判明する貴重な情報となり、災害対応や分析の見地から非常に有効であると思慮します。

さらには副次的な活用として市内災害に留まらず、大規模災害が発生した際に出場する緊急消防援助隊の活動にも、被災地へ向かう際の経路選択(災害による道路陥没や冠水で通行不能の場合が推測される)や、被災地での緊急度を図る指標として、活動の作戦決定における重要な情報源にもなり得ます。併せて、AIの解析により地図表示されるため、土地勘のない場所でも被災場所の位置関係の参考になり、現地での消防活動の助けになると考えられます。

このように、本サービスはSNS情報を活用した新たな情報ツールとして、今後の様々な災害対応での活用はもちろん、災害広報における報道対応や過去映像からの火災調査、職員研修にも活用を場を広げていくことが期待されます。



# 必読！基礎から学ぶ救急活動！！

## 本部第三救急隊 (A14) について

今回は新年号でご紹介した本部救急隊の組織改編に伴い、令和3年10月から新たに発足した本部第三救急隊(以下A14)にスポットをあてて、大阪市消防局【初】となる日勤救急隊の運用についてご紹介していきます。

### 運用体制

運用時間 9時00分～17時30分 (365日)  
乗組構成 5名 (内訳 司令補4名、士長1名)  
※5名のうち2名が指導救命士



### 担当業務

A14の主な担当業務は、通常災害対応はもちろんのこと実務・派遣・集合研修と大きく分けて3つの研修を受け持っています。研修の企画立案から指導に至るまでを専属で行う研修担当指導隊となります。

#### 実務研修

所属の救命士1名がA14に同乗し、OJTを実施する研修

\*OJT (On the job training)  
実務を通じて指導をしていく教育方法

#### 派遣研修

A14の指導救命士が、所属の救急隊に同乗し、隊に対して行う研修



#### 集合研修

各署から代表の救命士が1名ずつ集合し、座学や実動訓練を行う全体研修

#### 各研修の受講対象者 (正規救急隊員として任命を受けている者の内)

実務研修	消防司令補へ昇任した救急救命士、新任救急救命士、または左記以外で救急課長が認める者
派遣研修	各署所の救急隊の乗組員
集合研修	救急救命士資格を有する者で各署各部1名、または左記以外で救急課長が認める者 (実務研修を受講した者を除く)

## 研修内容

### 通常研修

- ・ リスクマネジメント
- ・ CPA活動
- ・ 交通事故防止
- ・ 接遇
- ・ 感染防止対策
- ・ 各種プロトコル確認
- ・ 多数傷病者対応要領
- ・ シミュレーション



### 同乗研修

- ・ 初期評価の重要性・必要性の確認
- ・ 活動内容について各種プロトコルとの整合性の確認
- ・ ORIONの実施基準に基づく病院選定の確認



### 実務研修

日勤研修 2日

### 通常研修 (災害現場以外)

- ・ 多数傷病者対応
- ・ 各種プロトコル研修
- ・ 感染防止対策

### 派遣研修

### 同乗研修

- ・ ORIONに基づく活動の検証及び指導



医師引継ぎ



災害現場



消防署

署所救急隊



A14指導救命士

### \* 派遣研修イメージ

### 集合研修 (日勤研修 2日)

- ・ リスクマネジメント
- ・ CPA活動
- ・ 交通事故防止
- ・ 接遇
- ・ 感染防止対策
- ・ 各種プロトコル確認
- ・ 多数傷病者対応要領
- ・ シミュレーション



### 最後に…

A14の運用体制の他、研修についてご説明させていただきましたが、皆さんご理解いただけでしょうか？

コロナ禍で今年度の各種研修が延期となっていました。ようやく昨年10月から再開の運びとなりました。研修担当指導隊として、研修を受講していただいた方にとって、少しでも有意義な研修が提供できるよう本部救急隊一同努めてまいります。さらには、研修後の各署所でのフィードバックを実施していただくことにより、救急隊全体のレベルの底上げになることを期待しております。

# 突撃取材！

ウチ  
●●署は、こんな訓練やってます！

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材！！「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」「ウチの行政区は河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝えします！

第11回は、平野特別救助隊による「航空救助訓練」です！



今回、訓練を紹介してくれるのはこの人！



大阪市消防局

消防司令補  
宮崎 裕行

## ①平野特別救助隊 (AR) について

まずは、平野特別救助隊が配備される平野消防署についてご紹介します。平野消防署は大阪市南東部にある平野区の中央に位置し、周囲は生野区、東住吉区、東大阪市、八尾市及び松原市が隣接しています。平野区の人口は大阪市内で第1位であり、住居地域を中心に寺社・仏閣、工業地区なども有するベッドタウンです。平野特別救助隊は、大阪市内で唯一、消防ヘリコプターと連携した航空救助活動に従事する救助隊 (AIR-RESCUE) です。

航空隊基地は八尾空港に配置されており、消防ヘリコプターを2機保有しています。また、航空救助専任の本部特別高度救助隊 (ASR-AR) が常駐しており、平野特別救助隊と連携して救助ミッションを遂行します。航空救助活動は、その機動力・有能性・多岐にわたる活動能力を備えていますが、活動の特性を理解していなければ、様々な要因により救助活動が困難となる特徴があります。

今回は我々、平野特別救助隊の航空救助訓練にスポットを当てて紹介しようと思います。

## ②航空救助活動の困難性・特殊性

ヘリコプターでの救助活動のイメージは、「すごい！」「カッコいい！」と華やかなイメージを持たれる方も多いと思いますが、実際は非常に危険を伴う活動になります。そんな航空救助活動の困難性や特殊性の一部を紹介します。

### ①過酷な活動環境！！

ヘリでの救助現場は、標高が高い山岳地帯、細い登山道や崖などの急斜面のほか、河川などで増水により近寄ることができない中州など、地上隊では救出が困難な時に出場する。

滑落の危険や急流での活動など、自然環境にも多くの危険因子があり、非常に過酷な活動環境となる。



### ②特殊な活動空間！！

ヘリでの救助活動では、エンジン音や台風並みのダウンウォッシュが発生する。この音と塵により、無線は使えず会話も困難となり、手信号やアイコンタクトでの意思疎通が重要。

また、わずか5minのワイヤー1本で降下する。そのため、徹底した安全管理を習得しなければならない。



### ③変化する活動時間！！

ヘリでの救助活動では、ヘリのエンジンがスタートしてから、刻一刻と燃料を消費するため、常に時間との戦いになる。

燃料の枯渇は墜落を意味する。要救助者を救出し、空港まで安全に帰投できる時間を常に計算しなければならない。



### ③ 航空救助基本装備

通常の高所作業で装着するフルボディハーネスのほかに、航空救助活動に特化した装備を紹介します。

ヘリでの活動は常に高所作業となるため、各装備は細かな箇所についても確実な装着が求められます。



【クイックドロウ】  
ヘリからの降下時、ワイヤーに繋げる唯一のスリング（命綱）。クイックドロウにはバックアップとして素材の違うスリングを編み込んでいる。



背面

【航空ベスト】  
航空無線機や個人資器材を収容し、落下防止のためチャックやストラップが備え付けられている。右胸には名刺ホルダーがあり、他の消防本部と連携する際には名刺も活用する。

【トレッキングシューズ】  
山岳事案では、岩場や砂利をはじめ、沢や降雨によるぬかるみ、冬季は積雪や凍結など、様々な状況に対応する必要があり、現場に適したシューズを着用。

### ④ 航空救助資器材



【レスキュースリング】  
急流救助など迅速に救出可能な縛着系資器材。

【タイタン】  
分割式の担架でメッシュ状のため、ダウンウオッシュの影響を受けにくい。

【ラッピングストレッチャー】  
布製の担架でヘリからの携行が可能。傷病者の全身を包み込むように縛着できフェイスシールドによりダウンウオッシュ対策も万全な大阪市消防局特注のストレッチャー。

【航空救助用誘導ロープ】  
100m(9mm)のスタティックロープを使用。

【航空救助隊用防寒装備】  
航空救助では、雪山救助も対応することから防寒衣は必須となる。

【サーフェイスドライスーツ】  
航空救助に適した水面上での活動に優れている。

【エンジェルハーネス】  
乳幼児救出用のハーネス。身長100cm以下を救助対象する。

【AED】  
ヘリコプターの機内でも使用可能なAED。

【エバックハーネス】  
航空救助用に特化し、ビタゴールよりサポート性のある縛着資器材。

【ショートフィン】  
航空救助では基本的に長距離を泳ぐ必要がないため、ヘリ機内での動きやすさやスライド救助後の地上での歩行性を追求。

続いては、特殊な救助活動に対応するための訓練について紹介します！

## ⑤ 航空救助隊訓練

実施時期	訓練種別	実施時期	訓練種別	実施時期	訓練種別
4月～5月	新任隊員研修	5～6月(前期) 10～11月(後期)	水難救助対応・ 林野火災対応訓練	随時	ASR-AR連携訓練
4月～5月	航空救助基本訓練	11～12月	広域応援等対応訓練		検証訓練
6月～9月	山岳救助基本訓練	12月～1月	山岳救助想定訓練		府内消防本部(局) 連携訓練
					他機関合同訓練

航空救助隊の訓練は、所属訓練はもとより実際の機体を使用しての訓練は必須で、各種訓練種別を年間通じて実施しています。

また、訓練の手順として、まずは航空隊基地で駐機している機体を使用して実施する「駐機訓練」で活動手技を徹底的に習熟し、それから実際にヘリを飛ばして実施する「実機訓練」を行います。



### 所属訓練



航空救助活動では、エンジン音とダウンウォッシュの騒音下により、声での意思疎通は、ほぼ不可能な状況になります。そのため、手信号とアイコンタクトでオペレーターと意思疎通を図ります。

所属訓練では、航空救助活動マニュアルを熟読し、ベテラン隊員から活動手技を学びます。ヘリを使用しての訓練は限られているため、所属訓練では、納得できるまで徹底して実施します。

### 駐機訓練



### 実機訓練



駐機訓練では、手技を一つずつ確認しながら行います。駐機訓練でしっかりした手技ができて、初めて実機訓練に臨むことができ、身体で完全に覚えるまで徹底的に行います。

実機訓練では、実際に飛行しているヘリを使用した訓練のため、ダウンウォッシュによる風や騒音など、駐機訓練とは全く違った特殊環境下での訓練となります。訓練と言えども非常に危険を伴うので、隊員も緊張感を持って行います。

## ⑥平野特別救助隊が取り組んでいる その他の訓練

平野消防署は令和2年中において、住宅内で発生した建物事故の出場件数が25消防署の中で2番目に多く、一か月の平均出場件数が約20件となっています。建物事故は全国的にも増加傾向となっております。今後も独居高齢者が増加することが予想され、これに比例して建物事故の件数が増加することが懸念されています。

平野特別救助隊では、災害状況等を総合的に勘案し、「緊急度のSize Up」のもと緊急性が低いと判断した場合は安易に破壊活動に着手せず、建物の現状回復も視野にいたれた非破壊進入活動（Access Management）を積極的に実施しています。



真空吸引リフターで開錠!



ペンインパクトドライバーで  
素早く格子外し!  
内ネジは、L字ジョイントで!



トイレの内鍵もプラスチック板で  
破壊せず開錠!



破壊行為にかかる罰則法令の  
座学研修も実施!



ファイバースコープで  
内部確認!



ファイバースコープで  
倒れている人を確認!



模型を作成し、習熟訓練!



破壊しにくい  
パーテーションの  
乗り越え訓練!

平野特別救助隊では、Access Managementの様々な訓練を実施しています!!

### 航空救助隊長に聞け!!

平野特別救助隊長の込山司令は、航空救助活動マニュアルを一から作り上げ、今の航空救助体制の礎を築いた先駆者であり、本部特別高度救助隊（ASR-AR）の初代R1でもある。

そんな航空救助のレジェンドに聞く。航空救助とは？



消防司令 込山 隆

「航空救助」と聞いて、皆さんはどんなイメージを持っていますか？ヘリと共に颯爽と現れ、矢の如く救助し去っていく。そんなイメージではないですか？実際は、自然界の重力に反した活動であり、瞬間的な判断力が求められる。救助隊員はわずかR1・R2の2名で救助活動を完結させなければならず、『個』の高いスキルが要求される。

また、消防活動の中で、特に殉職事故が多いことからリスクな活動といえる。非常に大きなストレスを伴う活動だ。過去、私も危険な活動となったことがあった・・・緊急消防援助隊として豪雨災害に派遣された時、急激な天候悪化によりヘリでの脱出が不可能となり、孤立した危険地区の災害現場で緊急ビバーク（野営）を余儀なくされることがあった。

真っ暗闇の豪雨の中、土砂崩れが継続して発生しており、いつ飲みこまれるかわからない危険な状況下で一夜を過ごすことになった。

隊員たちには、常日頃から航空救助には高いリスクが伴っていることを肝に銘じさせ、時には生き残るサバイバルスキルも備えておくことが大切だと伝えている。

「航空救助」の華やかな活動の裏には、日々の錬磨された技術、研鑽された専門知識をもって初めて安全確実なミッションが遂行できると考えている。

最後に、

ヘリコプターを『カラビナ』のように使いこなすことができこそ、  
**航空救助隊である。**



緊急ビバークを行った  
緊急消防援助隊ミッション帰投後、  
当時、警防部長だった小西局長と

# CATCH UP WITH AND OVERTAKE

このコーナーは、消防の先輩から後輩へ伝承することをテーマに色々な先輩方からのインタビューを掲載していきます。

最終回となった今回は、生野消防署 横得副署長のお話です。横得副署長といえば、消防学校教官はもとより救助大会の指導員をはじめ、スマトラ沖大地震への派遣を契機にJDR（国際緊急援助隊）の技術検討員やフィジー国での救助技術指導など、指導者として経験豊富な先輩です。現在、生野消防署で一緒に勤務している井上が最終回のインタビューをさせていただきます。



伝承とは……  
人材育成に励むこと



## 救助大会を通じて

**井上** 昨年の4月から現場を退かれましたが、**横得** 今でも現場や安全な活動のあり方について考えることがあります。自分が救助隊長だったらどうするだろう？中隊長だったらどう指揮しただろう？と自問自答することもあります。

**井上** 今もですか？  
**横得** 救助大会に出場するようになった頃から、所属だけでなくそこで出会った先輩たちの影響もあり、日頃から現場活動のことを考える習慣が身につきました。私にとって救助大会は、現場活動の原点となっています。

**井上** やはり横得副署長にとって、救助大会は特別なですね。

**横得** 当時は指導員の方や先輩方からいろんなことを教えていただきました。厳しく叱られることも、誉めていただいたこともありました。救助大会の訓練自体が消防職員としての魂を揺さぶるきっかけになり、そこで厳しい現場活動に耐えうる肉体と精神力を培うことができました。辛い訓練を共に頑張ってきた仲間たち、半人前の私を所属で応援してくれる方々がいたからこそ、いろんな経験をさせていただき、これまで出会った方々に心から感謝しています。

## 人材育成

**井上** 昨年、全国的に発生している消防職員の重大負傷事故についてどう思われますか？

**横得** 本当に難しい問題だと感じています。安全な活動は尽きたところ指揮者、指導者の手腕次第だと思います。一方で、現場活動や訓練は個々が考え行動するものですから日々の人材育成、安全教育が最も重要だと思います。

**井上** 実績や経験を積まれてきた方でも難しく感じられているのですか？

**横得** もちろんです。様々な環境下における警防活動について、どのように教育し実践させるか、人材育成に掛かっていると感じています。

**井上** 安全な活動について、横得副署長は中隊長の頃から「私はみんなを変えることはできない、あなた自身を変えるのはあなただけだ」とよく言われていたのですが、どのような思いがあったのですか？

**横得** 他人を変えることなんて、そんな簡単にはできないと思います。だからこそ何とかみんなを「本気にさせたい、一丸となって安全を守りたい」そんな一念からの言葉だったと思います。

私自身、様々な課題に対して、みんなをどうしたら本気にさせられるか答えは出ていません。

ただ、私が若かった頃、経験値のない私に先輩方から頂いた本気のメッセージは、壁にぶつかった時に自分自身を奮い立たせ、勇気づけ、壁を乗り越える原動力となりました。

私も後輩のみなさんに本気のメッセージを伝え続けたいです。

**井上** 横得副署長は、信頼関係についてもよく話されていましたが？

**横得** コミュニケーションの土台となる健全な人間関係なくして、危険と隣り合わせの現場活動で安全な活動ができるでしょうか？

日々の挨拶をする、相手を誉め敬意を払う、相手に好意を示し、相手を受け止めることで信頼関係が築かれ、そこではじめて安全な活動が生まれてくると思います。

## 次世代の指導者のみなさまへ

**横得** 私は救助隊長の頃、部下を負傷させてしまったことがあります。結果的に負傷事故について他人事のように考えていたと言われても返す言葉はありません。当時「隊長と隊員の関係性だけでは限界があると思わないか」、「上司や部下の関係を越えて我が子を育てる覚悟で臨まない」と上司と二人で猛省したものです。私は、経験年数が長いだけで前列踏襲の職場風土に浸かり、部下の足を引っ張っていたのかも知れません。一方で、私は部下に日頃から主体性を持たせるような指導を行っていなかったのかも知れません。部下はあらゆる角度から上司の行いを見て育つものです。良いところも悪いところも真似をします。だからこそ指導者として人間性を高め、仕事には妥協せず部下に考えさせ、部下の意見や提案にも耳を傾けられる指導者になってほしいです。

## ビジョンと素直な心

**井上** 今もよく「ビジョンを持って良いものはどンドン取り入れなさい」と言われていますが？

**横得** 消防の仕事全般に言えることだと思うのですが、まずビジョンを持つことが大切だと思います。その達成のために何が必要で何が人より劣っているのか徹底的に自己分析し、誰よりも研究と努力を重ね、誰にも劣らぬ自信をつければ必ず良い結果が生まれると思います。

また良いものはどンドン取り入れる、具体的に言うと、素直な心で徹底的に上手く行っている人の真似をすることで、ところが多くの人はそれができません。徹底的に真似（研究）をすれば上手く行くにそれができません。違うやり方で上手くやろうとしてしまいます。これでは成長が遅くなるとは思いませんか？

私が教えを頂いた先輩方は一流のレスキューであり良いものを取り入れるプロでした。それだけではなく精神的にも常にポジ



生野消防署  
副署長 横得 順一

昭和43年生まれ(53歳) 平成3年拝命  
長年救助隊として活躍されたほか、消防学校、人事課、警防課、高度専門教育訓練センターなど様々な業務に携わる。

【救助大会(障害突破)の実績】  
救助技術近畿地区指導会 10回出場  
全国消防救助技術大会 4回出場  
第23回 第1位 第25回 第2位 第27回 第1位

ティブで、自分の強みを生かし「やればできる」と言い聞かせていました。そして所属のみなさまからは、日々叱咤激励を頂きながら大きなサポートを得て「感謝」というポジティブ感情の高まりを自信へと繋げられていました。

**井上** 救助大会に臨むうえで気をつけられていたことはありますか？

**横得** 特別なことではないと思いますが、大会は一発勝負ですから、今やるべきことに集中しなければなりません。「自己ベストを出そう」とか、「1位にしよう」とか、心配しても仕方ないことを考えるよりも、今できること、目の前のことに傾注し、災害現場のように一つひとつの行動を丁寧にすることが大切だと思います。

不安や緊張を受け入れて、冷静にやるべきことをやり、自分を信じて与えられた舞台を演じるつもりで挑戦してください。

## 後輩たちへメッセージ

**井上** 最後に後輩たちへ熱いメッセージをお願いします。

**横得** みなさんは「他を生かすために」という合言葉をご存じですか？

日本国内「最後の砦」と言われている航空救難団救難員の合言葉ですが、我々消防にも相通じる言葉です。都市部における最後の砦、市民の盾となりその生命、財産を守り安心と安全を確保するのは我々消防職員です。

すべては市民のためにあり、あらゆる場面において市民の方々に喜んで貰える優しい存在でなければなりません。また、日頃から現場活動のことを誰よりも考え訓練に臨まなければなりません。それはなぜか？「市民を生かすため」だからです。

精緻な防災計画を策定し AI を導入しようとも、災害による被害を軽減するためには、それを使いこなす人の資質が成果を大きく左右することから、「防災も最後は人次第」とよく言われます。まさに「人材育成」次第だと思います。

どうかみなさんが、初代松島消防局長が「明るく、共に励みて強からぬ 自立つときは敏く応えて」と詠まれた局是の理念のもと、当局の伝承者となり人材育成に励んでいただくことを心から願っています。

これからの主役はあなた達です。

# 安全確保の原則

- 一、安全を優先して活動すること
- 二、安全は、自ら確保すること
- 三、気力を充実すること
- 四、現場最高指揮者等は、隊員の掌握に努めること
- 五、現場装備は、完全に着装すること
- 六、警防機器の機能を知り正しく操作すること
- 七、現場規律を厳正に保持すること
- 八、単独行動を慎むこと
- 九、状況の急変化においても冷静さを失わず安全確認を確実に行うこと
- 十、過去の事故事例を教訓とすること

(警防活動における安全対策基準)



『安全管理』は、団塊世代の大量退職により消防活動経験の喪失が大きな課題となっている。現在、警防部所属の相当にベテランの先輩職員達が、自身の経験や体験を踏まえながら『安全確保の原則』を再確認しつつ、警防活動、警防訓練等の実施時における安全対策をあだこうだと熱く語り合うことで、次世代を担う消防職員の皆さんの意識高揚を図るとともに、教訓とノウハウを伝承する対談形式の記事です。

## 今月のテーマ 「想」



今月号は、先月号に引き続いて「想」をテーマに話を進めていきましょう！今月号は、今年度の締めくくりですし、今年度の総括と今後の安全管理についての皆さんの想いを伝えましょう！

もう今年度も終わりか。ほんまに年々早くなるな。令和3年は、火災件数が596件で、昨年より108件も少なくなってるし、年々火災件数が減少して、現場経験が少なくなってるし、まうの否めないな。それでも現場は待つてくれへんから、自己研鑽が大事になってくるよな。

そうですすよ。警防活動における安全対策基準や警防訓練における安全対策基準にもあるように、まず、安全は自ら確保しなければならぬ。だから、常に訓練や自己学習を、怠ることなくやっていく必要がある。また、安全管理においては、服装や装備を整えることも非常に大事になる。そうやって、まず個人が安全に対する意識を固めることで、小隊から中隊へとさらに安全意識の輪が大きくなっていく。

やっぱり意識することが、ほんまに大事になってくるよな。だから、上司や先輩は、普段から安全管理に対する一挙手一投足が、部下や後輩の見本になっていることを認識しておかなあかん。それが手本になるから、いい習慣や知識を身に付けた職員は、災害現場や訓練でも当たり前のように安全を確保した活動になる。

なるほど！手本となる上司や先輩がいるのは、本当にありがたいものです。後は、対岸の火事と思わないことが大事です。職員負傷が発生した際に発信されるアシデントアラートや事故事例等を、他人事のようにとらえてしまおうと再発防止に繋がらない。だから、明日は我が身と思っ、しっかりとアンテナを張っておかなければならないと思います。

.. そうやな。しっかり意識を高く持って、情報を集めたりしないとかあかんよな。例えば、司令課でも大阪市立大学の先生とタイアップして、木造モルタル塗りの建物で火災が発生した場合、最先着隊が到着してから何分経過した時が崩落等のアシデントが発生するかを分析している。今後、本部としてそういう情報発信をやっていくから、確認し

ておいて欲しいな。

.. して、それを浸透させる指揮者や小隊長も必要です。経験が少ない隊員に対して、自分自身の経験を伝えるだけでなく、新たに得た情報や研修で学んだ知識を、しっかりと伝えてあげて欲しい。例えば、研修が休務で受講出来ない隊員に対して、受講した指揮者等がフォローアップをして、署員全員に研修を実施するなど、署全体に考えを浸透させる必要があります。

.. 高い安全管理意識を持った職員がどんどん増えていくことは、事故を減らすことに繋がる。しかし、一日中緊張し続けるのは難しいし、逆に集中力が散漫になってしまう。だから状況に応じてオンオフのメリハリをつけるのが重要な。それは、災害現場でも一緒で、休憩できる場所ではしっかり休んで、活動場所では気持ちを引き締めなければならぬ。

.. この熱い想いは、しっかりと伝えていきたいです。本当に安全管理は、一日一日の積み重ねが大事になってきます。皆さんには、今年度を通して色々な経験や知恵を話してもらいました。最後に締めくくりになるのですが、職員皆さんへ一言ずついただいてよろしいでしょうか。

.. 災害現場や訓練では、周りを大きく見ることが重要だ。ということが多。多数の目で多角的に、広く見るということが重要で、木を見て森を見ず、ということわざがあるように、狭い視野だと大局を見失ってしまう、ということ。です。

.. 現場が少なくなってきた、中々経験を積めない中でも、常に意識を高く持って訓練や自己研鑽を積み重ねることが大事。毎日コツコツ。

.. 安全に対する意識や事故事例は「常に発信しないと、薄れてしまう。忘れてしまう。伝わらない」過去の知識や経験をいかなる時にも活かすため、一度だけでなく常に発信して、皆が忘れぬよう伝え続けることが必要です。もうひとつは「安全、確実な」として、迅速はない、繰り返し正確な技術を磨くこととして、迅速で確実な活動にすることです。

.. 互いを知り、そして思いやりと伝える勇気があれば、絶対に事故は無くせる。そのためにも、皆さんがおっしゃっていたように日々研鑽を重ねて、伝えることを出来る自信と知識、それと仲間との信頼関係を築いて欲しいと思います。皆さん1年間に渡り、本当にありがとうございました。この想いが、一人でも多くの職員を守る一助となれば幸いです。



徳野：最年長。いつも冷静沉着で、トークのまとめ役。



大塚：海外派遣も経験している救助のエキスパート。



居波：数々の災害現場を経験した“現場の鬼”。



西田：自分に厳しく！人にやさしく！トークの進行役。

# コマンドアイ



様々な事案から災害活動を振り返る

## 本部特別高度救助隊

### 的確な情報収集と迅速な救出活動について

#### はじめに

今回は住宅街で夜間に発生した2階建一般住宅の火災現場について紹介する。

消防隊到着時には開口部から火炎が噴出し、救出に一刻の猶予がないような状況下において、先着隊が迅速・的確に人的情報の収集を実施し、重点検索箇所及び検索方法を消火隊に情報共有し、早期の連携の取れた検索を実施した結果、要救助者を発見し救出に至った事案である。

#### 火災概況

##### 構造様式

木造カラーベスト葺サイディングボード張2階建一般住宅  
(建60㎡/延110㎡)

##### 焼損程度

1階60㎡、2階30㎡、小屋裏10㎡焼損  
火元西側鉄骨造2階建共同住

宅の外溝フェンス溶融

##### 出火時世帯状況

女性1名(自力避難し通報)  
男性1名(要救助者)

覚知時間	19時42分
救助開始時間	19時45分
救助完了	19時55分
鎮圧時間	20時29分
鎮火時間	22時18分
出場規模	通常第2出場
安全管理隊	
警防本部判断により特命出場	

#### 活動のポイント

##### 裸足で避難していた女性を発見

先着救助隊が現場到着時、火元建物東側1階窓からの火炎と建物付近に人だかりを確認する。その中の一人から火元の世帯情報を入手し、男性1名、女性1

名の計2名であることを把握した。時を同じく救助隊長は、火元の向かいの家の玄関前に裸足でいる女性を確認。自力避難してきた可能性があると考え女性に声をかけると、火元の女性であることが判明。

さらに、建物内に男性1名が取り残されている事を聴取したため、自隊の隊員及び直近隊の小隊長に対し、直ちに検索準備に着手するよう指示。警防本部に即報後、さらにより詳細な情報を得るために聞き込みを続けるところ、要救助者は玄関から進入して北側の仏間にいたとの情報を入手した。

検索準備を進めていた隊員と消火隊に対して情報共有を行い、重点検索箇所を仏間とし、最短距離となる右回りで検索することと、視界を確保するために援護注水体制を確保した上で放水はせず、熱画像直視装置を活用し、熱気を感じれば放水開始するように活動方針を決定し検索を開始した。

##### 重点検索箇所に強い熱気が

先着救助隊の小隊長が後着救助隊とドッキングし、情報共有及び任務分担を行っている最中、隊員より玄関から進入してまもなく強い熱気を感じたため、援護注水を開始しながら検索しているところ、重点検索箇所の仏間の入り口



玄関

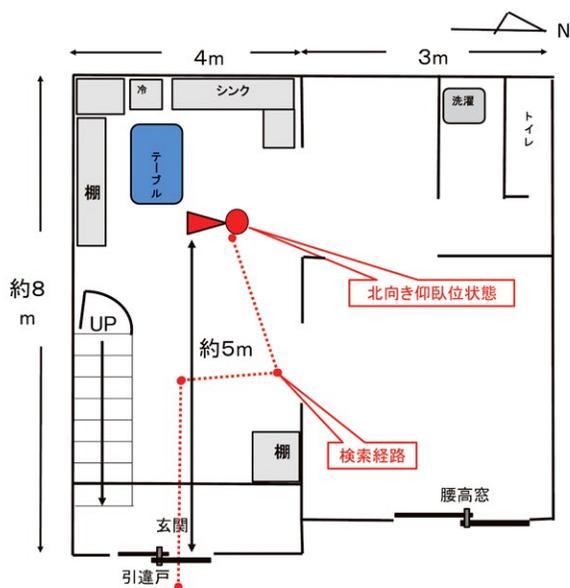


外観

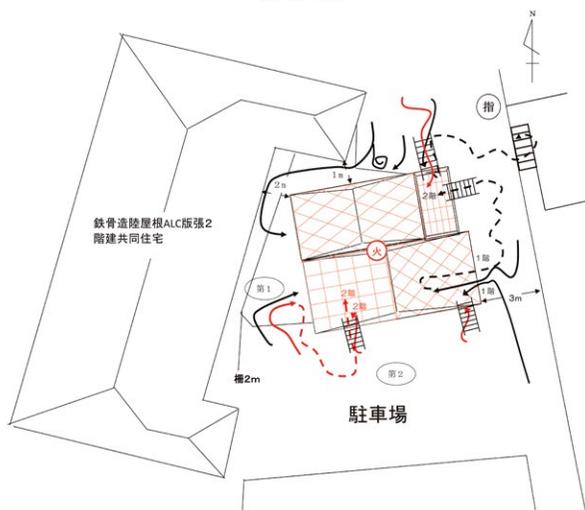


内部

救出状況図



防ぎょ図



### 要救助者発見 消火隊との連携

火勢を押さえる間、周辺の検  
索活動をしていた2名の隊員は

からさらに強い熱気があり消火  
しなければ進めないとの報告を  
受けた。  
仏間の入り口で隊員1名と消  
火隊員により火勢を押さえさせ、  
その間に救助隊員に検索可能な  
周辺箇所をさらに検索するよう  
に指示した。

仏間の入り口から北に2m程度  
進んだところで要救助者の体に  
触れ男性1名を発見した。すぐ  
に小隊長に報告するとともに、  
かかえ搬送により屋外に救出  
待機していた救急隊に引き継い  
だ。  
その時、小隊長は後着の各消  
火隊に対して、現在要救助者を  
発見し、救出活動中であるため  
隊員が活動している間は放水を  
一時的に待つように周知すると  
同時に入り口に救急隊を要請し

### 救出後、 2階床面の崩落あり

要救助者救出後、仏間の火勢  
がますます強くなり建物内の消  
火隊及び救助隊は一時退出。そ  
の後すぐに、玄関から大きな音  
が鳴り響き、2階の床面が崩落  
していることを確認する。  
到着した安全管理隊により1  
階の玄関に消防隊活動禁止区域  
を設置し進入制限を行った。そ  
の後安全管理隊により継続し  
た建物評価を行いながら消火活  
動を実施し鎮火に至った。

### 活動を振り返って

火元建物から避難してきてい  
る人物は要救助者救出に必要と  
なる重要な情報を持っている場  
合が多く、時期を逸することな  
く迅速かつ的確な情報収集に努  
める必要がある。

重要情報を持つ家人は火災と  
いう特異な状況下において混乱  
していることが多いため、情報  
収集時には対象者を安心させ冷  
静に対応しなければならぬ。

また小隊長だけに情報収集を  
任せることなく隊の中で共通の  
情報収集リスト等を事前に作成  
しておくことにより隊員が情報  
収集を行っても重要情報を聴取  
できるような工夫を施すことや、  
日々の訓練による個人スキルの  
向上を怠ってはならない。また、  
救出活動中における消火隊との  
連携についても、各隊の特性を  
理解し、活動の共通認識を日ご  
ろの訓練により構築していくべ  
きである。

本事案は日ごろからの訓練成  
果が遺憾なく発揮された結果、  
要救助者を建物の崩落前に迅速  
に救出できたものである。今後  
も緊迫した災害現場で、安全・  
確実・迅速な救助活動が行われ  
ることを期待する。

# 調査鑑識

## Survey & Investigation

一次世代に語り継ぎたい火災調査



第九走者

阿倍野消防署 警防担当  
田中直樹 司令補

### ▷ 次世代に残したい事例 “車両火災の調査について”

「次世代に語り継ぎたい火災調査」第九走者は、阿倍野消防署警防担当の田中主任です。

車両火災の調査を行う場合、出火車両を熟知し適時適切なアドバイスができるメーカー等の支援が必要であり、それに加えて調査員もあらかじめ車両に対する基本的知識を理解しておかなければ出火原因の痕跡を見落とす可能性があります。そういった点からも、建物火災に比べて苦手意識を持たれがちな火災調査ではありますが、車両火災の調査を進める上で知識や経験以上に、“調査環境”の良し悪しが非常に重要な要素となってくることを忘れてはいけません。

今回は、車両火災の調査において「事前準備」がいかに重要かということがわかる事例を紹介して頂きます。

### ▷ 鑑識場所の選定が一筋縄ではいかない・・・

#### 【火災概要】

平成23年10月某日の午前中、外国製高級乗用車1台焼損。出火日当日、15分ほど走行してから車両のボンネット左から煙が出始め、ブレーキの効きが悪くなったと感じたため路肩に停車した。運転手は付近から消火器を借りて初期消火を試みたが、ボンネットが開かず初期消火は失敗。その後119番通報を実施。



外観の焼きは左前方の焼きが強い

外国車（並行輸入車）  
初年度登録：平成8年  
次年度登録：平成17年  
（現所有者は15年落ちで中古購入）



ヒューズボックスを見分すると、1本だけ被覆が剥きだしの配線が...

この配線はヒューズを介していないことが判明

消防としてはメーカーに鑑識協力を得たいが、り災車両は並行輸入車ということで、メーカーや正規ディーラーの協力が得にくいというのが現状・・・



所有者

いきなり車が燃えたんやから車が悪いに決まってるやろ！  
鑑識場所もメーカーが用意するのが普通ちゃうんかい！？

そう言われましても並行輸入車かつ中古車ですから・・・  
ウチの責任範囲からはだいが離れていますよ・・・



外国車メーカー

所有者とメーカーの意見が対立することで鑑識場所の選定が困難となった。  
車両鑑識の事前調整の段階で、所有者は「メーカーを訴える！」というほどまでに息を荒立てている。



ヒューズボックス

この配線は後付けのHIDヘッドライトの配線である

拡大

HIDライトへ



HIDヘッドライトの配線に短絡痕あり

消防としては、メーカーの言い分も十分理解できるが、入念な鑑識を実施するためには整備施設が整った**鑑識場所の選定が重要**と判断。なんとかメーカー側に鑑識場所を提供してもらい、車両鑑識に至った。

これが功を奏した！！！！

【鑑識結果】

そうなのかあ...

後付けのHIDヘッドライトの配線が走行時の振動等の影響で被覆が損傷し、ボディと短絡、ヒューズが介されていないため短絡電流が流れ続け、出火した可能性が高い。



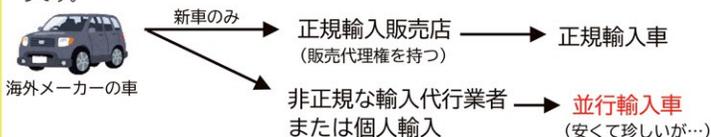
## ▷ 車両火災の調査における事前準備の重要性・・・並行輸入車でありがちな問題とは？

### 【事前準備】

- ・ 鑑識場所の選定
- ・ 調査用資器材の準備
- ・ 車の車歴やメンテナンス状況
- ・ リコール情報
- ・ 関係者の立ち合いの手配 など

所有者に内緒でメーカーに見分させると、「消防はメーカーとグルだ」と思われる。自分に過失がないと思っている人は納得がいかず、「消防はメーカーの味方をしている」と思うのも当然である。これらの問題を起こさないためにも、火災調査の重要性とメーカー等の技術的支援の必要性を所有者に伝え、必ず所有者等の了承を得てから鑑識を実施するべきである。

並行輸入車というのは、メーカーの正規ディーラーのルートで購入された車両ではなく、個人の売買等で外国から輸入購入された車両のことです。例えば、アメリカ国内で販売された、若しくは製造された車両を個人で購入して日本国内で使用するような形態で、一般的に正規ディーラーで日本向けに製造販売されているものよりも安く購入できるようです。



並行輸入車の場合は、メーカーの正規ディーラーを通していないので、鑑識場所の提供について正規ディーラーの協力が得られない上に、メーカーについても並行輸入車ということで技術協力を渋ることがあります。特に年式の古い長期間使用している車両であると余計にその傾向があります。

## ▷ 田中主任に聞いてみました

車両鑑識も花見も、場所取りが肝心や！



(秋) この火災調査で最も苦労した点は何ですか？

(田) やっぱり鑑識場所の選定かな。所有者は車が燃えたことに対してかなり怒っていて、「場所はメーカーに準備せろ！」って言うてるんやけど、並行輸入車ってことでメーカーは非協力的やったよ。並行輸入車が燃えたときはメーカーの協力が得にくいってことは承知の上やから、消防のみで鑑識をせなあかん覚悟はあったんやけど、メーカー抜きで鑑識を進めてしまうと所有者感情が抑えられへんやん？今回は特に整備施設が整った中でメーカー協力のもと鑑識をするのがベストやと判断したよ。だから、こういう理由で何とか鑑識場所の提供と技術者の派遣をお願いできないかとメーカーに依頼し続けて、やっと承諾してもらったんよな。終わってみれば、これが一番の成功やったと思うよ。

(秋) 所有者も車両鑑識に参加されたのですか？

(田) そうやで。鑑識場所でもかなり怒ってはったな。当然、所有者とメーカーそれぞれの思いがあるから時には対立してしまうことがあってもおかしくないやけど、それを車両鑑識の場に全面的に出されたら「類似火災の予防のために」っていう大きな目的からは外れてしまうことになる。だから、この車両鑑識ではそういった中立性や透明性を保つために、いつもは2人で支援に行くところを当時の調査鑑識メンバー4人で臨んだよ。鑑識は物的ばかりに目が行きがちやけど、人的なところの調整も本当に大事やと思うよ。

(秋) 鑑識後、所有者は納得されていましたか？

(田) そうやね。最後はメーカーに対しての怒りは静まった。所有者自身、中古購入した物が並行輸入車ってことや後付けの HID ヘッドライトが付いているってことはあまりよく分かっていなかったんやと思うわ。納得を得られた一番のポイントは、所有者を置いてきばりにしないこと。鑑識で読み取れる事実を所有者に対して 随時説明しながら進めたのが良かったかな。これぞまさに人的な調整やね(笑)

(秋) 車両鑑識を実施する上で、大切にしていることはありますか？

(田) 消防は車両のことを全部理解する必要はなくて、「どこが火災につながってくるか」ってことさえ知っておけばいい。そういったことは自ずと電気系統や排気系統みたいに熱を持つところに絞られてくるのがほとんどかな。車両鑑識で大事なのは事前準備の段取り8、知識2やと思っているよ。



勉強になります！

後輩たちに一言お願いします

車両火災の調査は苦手意識を持たれがちですが、大事なのは役取りです。公正な立場にいる調査機関として、車両鑑識の目的を見失わないようにして下さい。





## 安全管理

12月28日、令和3年最後の訓練として、松前教頭の「安全管理」の授業が実施されました。この授業は消火訓練を実施する「活動隊」と、その訓練の安全管理について評価する「安全管理評価者」に分かれて訓練を展開していくという内容です。

活動隊は訓練開始直前に与えられた火災想定の中で、いままで培った知識・技術を発揮し、延焼阻止への放水や筒先轉身から屋内進入まで学生自らが考えて実施していききました。

安全管理評価者はその想定の出火階、建物構造などからどこに危険が潜んでいるか、活動隊の隊員一人一人に安全管理評価者をつけ評価していききました。普段の活動目線では無く、一歩引いた俯瞰的目線で訓練を見ることができたのは、学生にとってとても良い訓練になったでしょう。

訓練を重ねるごとに活動隊レベルが上がっていくのが明らかに感じとれました。残り3カ月で学生達がどこまで成長していくかが楽しみです。



隣接建物への延焼阻止を  
スプレー放水でしっかりと  
防御

放水下での活動隊員は  
落下物に注意しろよ！



上階への延焼阻止と  
出火室への交互放水

今から屋内進入して放水  
する隊おるから出火室へ  
の放水やめ！

# 自然災害教育

## 泥濘地歩行訓練

今年度、消防学校敷地内に土砂災害を想定した泥濘地体験施設を設置し、学生に胴付長靴を着装させ歩行訓練を実施しました。中には沼に足を取られ、脱出できない学生も見受けられました。

この訓練を通して、泥濘地での足の抜き方や敷板等での足場設置の大切さ、また水の活用方法等、今後の実戦で必ず役に立つ体験ができたのではないのでしょうか。



## チェーンソー機器取扱訓練

自然災害教育の為、大東市危機管理室よりチェーンソーを20基借用し、機器取扱訓練を実施しました。使用上の注意点を重点的に学び、エンジン始動から枝木切断まで体験することができました。

学生達にとっては、少ない時間でも多くの資器材を触る機会が増えることは、今後の消防人生に必ずプラスになるでしょう。





## 豊中市消防局

### 官民連携で感染症予防啓発

令和3年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が4回出され、救急隊員の感染防止対策や救急車の消毒、長時間搬送先が確保できないなど、当市消防局も大変な1年となりました。

令和4年も新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、市民への感染症予防対策の啓発が重要となります。

当市では、官民連携に力を入れており、今回は花王グループカスタマーマーケティング株式会社と連携し、感染症予防の啓発を行いました。冬季は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザウイルスやノロウイルス等による救急搬送が増えることから、花王の手指衛生関連製品を掲載した、手洗い・手指消毒・マスク着用の啓発ステッカーを救急車に貼付し、話題性のある広報に取り組むことにより、市民への啓発を推進しました。

令和4年度も官民連携をより充実させ、新しい普及啓発に力を入れていきます。

## 令和4年 岸和田市Web消防出初め式

きしわだ市制100周年

## 岸和田市消防本部

### Web出初式の開催

岸和田市消防本部では、令和4年1月8日に実施予定していた出初式を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、『Web出初式』として行いました。

例年通りの出初式では、どうしても会場内に多くの人が集まってしまう、感染のリスクが高くなることから、今回のような開催方法としました。

『Web出初式』の内容は、岸和田市長の訓示で始まり、岸和田市産業高等学校吹奏楽部の方々の演奏、救助隊による垂直はしご操法など実際の出初式で行う予定であった演目を可能な限り行いました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で出初式を行うことが出来ませんでした。今回のようにWeb上で出初式を行うことで、改めて市民の方々に火災予防に対する意識を持っていただくきっかけであったり、出初式を楽しみにいただいている方々に少しでも喜んでいただければと思います。



## 箕面市消防本部

### 大規模倉庫の合同査察を実施！

箕面市消防本部では、予防室と豊能消防署が合同で、箕面森町第三区域内の大規模倉庫の査察を実施しました。

同区域は、箕面市の北部丘陵に位置する緑豊かな箕面森町地区のなかで、企業用地として開発された全20区画25ヘクタールのエリアです。周辺に新名神高速道路の「箕面とどろみIC」が開設されたことや箕面グリーンロードが接し交通利便に優れることから、物流施設や製造加工施設などの産業施設が続々と建設されています。

今回の合同査察では、すでに操業を開始している大規模倉庫に対し、予防室が消防用設備や防火管理体制を確認するほか、管轄する豊能消防署が有事の際に使用する水利施設や非常用進入口などの確認を行いました。

近年、全国的に大規模倉庫での火災が発生しており、消火活動が長期化する傾向にあることから、今後操業を開始する他の産業施設についても合同査察を実施し、火災の未然防止と警防体制の強化に務めます。



## 忠岡町消防本部

### 南海トラフ地震災害に備え、警防訓練を実施しました

忠岡町消防本部では、令和3年12月に南海トラフ地震の発災を想定し、全職員参加の警防訓練を実施しました。

当消防本部は職員数が少なく、初動に対応できる人員が限られています。そのため災害時に1人当たりが抱える業務量も多くなるため、初動時の動きを明確にすべく警防班、予防班、総務班の3つに分け情報伝達や災害対応等の活動がスムーズに行うことを目的に訓練を実施しました。

非番職員の招集にかかる時間等も考慮しながら、時間経過とともに変化する被災状況を想定し、それに対応できる活動隊の調整を行うことで混乱した状況の中でも一人ひとりの任務が確認できた訓練となりました。

しかし新たな課題として、諸事案を把握し全体の指揮指令系統を確立することの難しさも浮き彫りになったことから、今後も改善を重ねながら技術の研鑽、現場活動能力の向上に努め、町民の生命・財産を守るためにも大規模災害に強い消防本部を目指します。

# 感謝状贈呈

住吉消防署

住吉区内の救急現場における人命救助活動に対して、住吉消防署長から3名の方に感謝状が贈呈されました。

## 功績概要

令和3年12月4日(土)16時頃、住吉区内の中学校内で行われたサッカークラブの試合中に発生した救急現場において、PLUCK FC(サッカークラブ)監督の藤井貴士氏と同サッカークラブの河村一冨氏、また、発生場所中学校サッカー部顧問の津田丈志氏の3名が、試合中に倒れた選手に対して、意識、呼吸の観察を行ったところ心肺停止状態であると判断、相互に協力して心肺蘇生法の実施、AEDの搬送及び119番通報を行いました。

その後、心肺蘇生法とAEDの使用により傷病者の心拍と呼吸、意識が戻ったことを確認したため、救急隊の到着まで観察の継続と保温に努めたものです。

今回の活動に携わった方々は、所属サッカークラブや職場において応急手当に関する研修を継続的にやっているそうで、その取組の成果を見事に発揮して、迅速かつ的確な行動によりひとつの命は救われました。勇気ある行動にあらためて感謝申し上げます。



河村一冨氏

藤井貴士氏

津田丈志氏

## アニマル環状線

～我が家の癒しをおすそ分け～

晴れて一年越しの成人式を迎えました私(娘)がリポートします。

我が家のアイドル1歳7か月のトイプードルを紹介します。女の子で名前は『ララ』ハワイ語“La La” にちなんで、太陽の恵みを受けて明るい元気な子にと名付けました。皆さん!トイプードルにどんなイメージをお持ちですか? 私はモコモコで小さくて可愛い室内犬のイメージでしたが、実際に飼ってみると『ララ』は元気すぎるぐらい活発で、休日になれば父と山登りやランニングに出かけます。家族の「室内犬なのに大丈夫?」「飼う犬種を間違えていない?」という心配をよそに『ララ』は父とのハードなデートが楽しく笑顔ルンルンで帰ってきます(笑)

「ララ~!!」と呼べば、遠くから「何?」と振り向き、尻尾を全開で振って走ってきます。構ってほしい時は、私の勉強中でも、遊んで~とノートの上にボールを転がしお構いなし。甘えたい時は、腹天になり舌を出して撫でてほしいと要求してきます。『好き』って言葉は発しないけれど、妹のように甘えてくるララの「年中無休の愛情」を感じています。

父は忙しく家にはいない時間が多いので、私と『ララ』だけの秘密も沢山あります!『ララ!大好き!』これからもういっぱい思い出作ろうね!

追伸:父へのイメージが崩れるかもしれませんが…父は仕事から帰宅すると、『ララ』に「今日は何ちてたん?教(おち)えて~や!」とニヤニヤしながら抱き上げ顔をすりすりします。まるで別人のようです(汗) あっ!父が帰ってきた。。。



警防課 西田 和人

## 西成区 古林工業株式会社

## 自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長  
西脇 暢寿

弊社は、社内において実際の消火器、屋内消火栓を用いての消火訓練を年2回実施、並びに地域の消防競技会に毎年参加し消防技術と、火事を出さない意識付けに努めています。



生活に必要な水、ガス、油、空気を送る配管に欠かせない継手。古林工業株式会社は、西成区に本社を置き、炭素鋼・ステンレス鋼の継手から環境配慮型の独自モデルの継手まで幅広い品揃えを誇る「突合せ溶接式管継手」の専門メーカーです。1919年（大正8年）の創業以来、配管継手製造のノウハウを追求し国内外の産業発展に広く貢献されています。



自衛消防協議会へは1959年（昭和34年）9月に入会役員事業所として同事業に長年ご尽力いただいております。2019年（平成31年）3月に創業100周年を迎え、昨年は優良自衛消防隊として消防局長表彰を受賞されました。また消防技術大会では「可搬式ポンプの部」において最多優勝を誇り、防火防災意識も非常に高く、消防署にとってはとても頼もしい事業所です。

## 女性防火クラブだより

### 住之江女性防火クラブ

住之江区女性防火クラブは、現在12連合268名のクラブ員が在籍しています。

当クラブは大阪市内で唯一女性防火クラブ技術発表会を開催し、昨年で5回目を迎えることができました。

現代社会では様々な分野で女性の活躍がクローズアップされていますが、防災策もしっかり、まさに女性の力が必要とされています。

いづつどこで発生するかからない大災害による被害を最小限にとどめるため、地域における連携を深めることが重要と考え、私たち女性防



火クラブが住之江区の防火・防災の担い手として頑張る姿を見ていただくことで、このコロナ禍の社会を少しでも明るくできるような「強く」「明るく」「あたたかく」をモットーに、さらなる防火・防災意識の高揚に努めて参りたいと思います。



# 救急安心センターおおさか だより

## 指を詰める…？

ある日、安心センターに寄せられた50代男性からの相談。

「指を詰めてしまったんですけど…」(落ち着いた口調)

これを聞いた相談看護師は状況を把握するのに少し時間がかかったのですが、なぜだか分かるのでしょうか？答えは、その看護師は関西出身ではなかったので、指を「挟む」ことを「詰める」という関西で使われる表現が分からず、指を「切断した」のかと思ったからです。かつては電車やバスのドアにもよく「指詰め注意」と注意書きが貼ってあったものですが、昨今ではあまり見かけなくなったため、最近関西に来られた方にはなじみの薄い表現かもしれません。逆に関西生活の長い方は「指を詰めるって関西弁やったん？」と思われるでしょうか。

「指を詰める」は特に勘違いしやすい表現ですが、他にも関西では標準語にない病気やケガの言い回しがあるので、消防職員が傷病者と接する際にも注意が必要です。傷病者から聞き取りを行う際スムーズに症候を聞き取れるように、また傷病者に伝わると思って口にして伝わらないことのないように、いくつか例を挙げておきますので活動の参考にしてみてください。

「あおたん」…青あざ、内出血

「めばちこ」…ものもらい

「さぶいぼ」…鳥肌

「ぐねる」…くじく(勢いよくひねるイメージ)

「でんぼ」…腫れもの、できもの(大阪には通称「でんぼの神様」と呼ばれる神社があります)



「市民の声」から

# こんな声届いています！

～「市民の声」

明日のあなたの

仕事に活かす～

### 【いただいたお手紙より(原文まま)】

東日本大震災の時、私と妻は岩手県内陸部の盛岡市在住で被害は無かったのですが、妻の両親(おじいちゃんとおばあちゃん)が沿岸の大槌町に住んでいたので、ガソリン調達など何とか準備を整え現地に向かいましたところ、大挙して救護応援に駆けつけて下さった皆様の隊列に出会いました。

あの時の感動と、こみ上げる感謝の気持ちは、忘れることは有りません。

あれから節目の10年。その時の写真を感謝の気持ちとともにお送りしたいと思いますので、どうぞお納めくださいませ。本当に有難う御座いました。

追伸：おかげ様で、おじいちゃんおばあちゃんは無事でした。



東日本大震災の時、岩手県大槌町に駆けつけて下さった大勢の大阪消防隊の皆様方

あの時は本当に有難う御座いました。感謝。m.m.m

こちらの写真とお手紙は昨年の3月11日にいただき、消防局のエントランスに飾らせていただいています。

今年で東日本大震災から11年。

当時結ばれた大槌町と大阪の絆は、これからも色あせることはありません。

東日本大震災を絶対に風化させることなく、私たち消防職員は、市民のみならずと一緒に災害に強いまちづくりを進めてまいります。

あれから11年

「The Black History」は、これまでの消防人生における失敗や反省事例を、先輩職員が「しくじり先生」となり後輩に伝えるコーナーです。書店でも「失敗から学ぶ」といったビジネス本が数多く並んでいますよね。たしかに、失敗は成功よりも多くのことを学べる機会でもあるのです。先輩たちの失敗に感謝しつつ、しっかり学ばせていただきますよ！

さて、今回、赤裸々に失敗談を寄稿してくださったのは、司令課に勤務する徳野課長さんです。



## 私の黒歴史

# The Black History

今回の謝り人： 警防部司令課長 徳野 浩一

消防生活41年、最終年月を迎えました警防部司令課長の徳野です。前回号までを拝見させていただきました。私も言い表せないぐらい、数々の失敗を繰り返してその都度、反省を教訓としていきますので、何かしらの役に立てたらと思います。

職歴は、救助隊や指令管制経験などを含め、隔日勤務として23年、人事や高度専門教育訓練センター(旧市消防学校含む)経験など毎日勤務が18年、その内、災害現場で自分の愚かさから生死を分けた「黒歴史」を伝えさせていただきます。

これは、管理職になったばかりの救助隊長時の出来事で、当時の私は6年間の日勤業務から久しぶりに消防署の救助司令に配置されましたが、昔の現場経験と管制員時代に培ったノウハウがあったので相当な自信があったように思います。また、救助活動を想定した訓練も十分に実施していましたし、隊員との意思疎通など信頼関係も構築できていたのではないかと感じていました。

そんな日々の中、●●管内での水難事案に出場した際のこと。救助隊長として先着した私は救命胴衣を着装し、情報収集するために災害点へ向かい、そこで要救助者を発見、同時に先着していた警察官とドッキングし、意識がもうろうとして仰臥位で浮いている推定60歳ぐらいの女性を発見。呼びかけと救助方針を頭の中で描こうと思った瞬間に、先着の警察官が「わし、先に行きまっさ!」と喋りながら腰ベルトだけを外し、制服のまま河川に飛び込んだのです。びっくりした私は、要救助者が「2人に増えた」と思った瞬間、ヘルメットを取り、無線機を置き、そのまま河川にドボン! 要救助者を確保したものの、救出するすべもなく後着した救助隊員が救命浮環と確保ロープ、救出ロープを投げ込んでくれたので、女性に装着することができました。その時、私は泳力が尽きてしまうほど体力を使い果たしていたため、初めて「溺れる」とは「こういうことなんだ」と感じました。

事案が終わり、私は一人、隊長としての資質に欠ける行動に猛省しました。そして隊員と活動のミーティングを実施し、隊員に謝り、今後の隊としての活動で二度と同じ過ちを起さないと誓いました。

救助経験豊富な隊員ばかりだったので、今回は冷静に私を含め救助に至りましたが、後で隊員の話を知ると、要救助者が1名から3名に増えていることにさすがに焦ったとの事でした。泳力に自信があると勘ぐっていた自分の「過信」は全て払拭されたことはもとより、隊長として必要な責務が何も成し遂げられていなかった結果といえるでしょう。

後に、飛び込んだ現場の警察官に聞くと、その警察官の制服の下には自己確保用の携帯浮袋を装着していたようで、要救助者への確保を考えたそうです。

隊長という立場において、どんな状況であるにしろ、自分のすべきことを怠ってしまった結果が周りの職員に助けられ、失敗に繋がっている事をしみじみ感じました。

やはり現場活動は一人では何もできません。何か一つやり遂げるためには、日々の準備を怠らず、周りのそれぞれの立場でその役割を全うすること、そして、それぞれの「個の力」が結集した集大成が成果に繋がると確信し、今後も私の「教訓」にしていきたいと思っています。

「私を助けてくれました、当時の救助隊員の皆様、  
本当にありがとうございました！」

「そしてこれまでの消防生活41年間を支えてくれました職員の皆様、  
ありがとうございました!これからも人生一生勉強です！」

以上、発信は徳野でした!

# 特定一階段等防火対象物に対する

## 緊急立入検査の実施について

予防部予防課（査察）

特別  
査察隊

令和3年12月17日（金）に北区曾根崎新地のビルで発生した火災により、類似施設の関係者等に対して防火安全対策の徹底を図ることを目的として、消防局では次のとおり緊急に立入検査を実施しました。

### ● 立入検査実施内容

#### 1 期間

令和3年12月17日（金）～令和3年12月31日（金）

（一部、令和4年1月5日まで実施）

#### 2 検査対象

特定一階段等防火対象物（診療所や飲食店などの不特定多数の人が利用する施設が1階～2階以外にあり、屋内階段が1か所の建物。）

#### 3 検査対象物数（表1参照）

5,480対象物

【表1】検査対象物数（署別対象物数）

北	795	大正	76	生野	243	東住吉	105
都島	157	天王寺	218	旭	65	平野	122
福島	93	浪速	375	城東	90	西成	317
此花	82	西淀川	58	鶴見	47	水上	9
中央	1,604	淀川	194	阿倍野	132	合計	5,480
西	221	東淀川	112	住之江	66		
港	81	東成	153	住吉	65		

#### 4 指導内容

避難経路となる階段や廊下などの維持管理状況の確認



検査の状況



報道陣囲み取材の状況

● 検査結果

1 実施件数

5,480 対象物

・進捗状況

開始から4日が経過した時点で半数以上実施（12月20日終了時点で約59%）

開始から8日が経過した時点で約99%実施（12月24日終了時点）

・令和4年1月5日 全ての検査を実施



2 不備指摘の状況

376 対象物に対し、546 件の不備を指摘

〔 建物関係者等に対し当該火災を踏まえた注意喚起を行い、不備事項を認めた場合は、早期の是正が図られるよう指導するとともに、避難に際し、特に人命危険が高い違反状況を確認した場合は、時機を失することなく違反処理（消防法第5条の3第1項に基づく権限行使の前段措置となる警告）を行うなど、強力な是正指導を行いました。 〕

3 是正状況（表2参照）

不備を指摘した546件は全て是正済み

【表2】是正状況（令和4年1月17日 is 正完了）

不備指摘項目	不備指摘数	是正状況		主な不備指摘
		是正済	指導中	
避難管理状況	546	546	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段、避難口、廊下等に置かれた物件が避難の障害となっている。</li> <li>・防火戸の付近に置かれた物件が閉鎖の障害となっている。</li> </ul>



# 昇任試験問題研究所

Vol.22



ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。主席研究員“九条みなみ”は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

## 第22話 ～救急～

みなみ：今日は、総務・予防・警防の3科目の中から、警防の「救急」について研究していきましょう。それじゃあ、始めるわよ!!

### 第1問

大阪市消防局救急規程第19条に規定する「搬送先の選定」に関する記述について、次の ( ① ) ～ ( ⑩ ) にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください (10点)

第19条 傷病者を搬送する場合の搬送先は、原則として ( ① ) に定める ( ② ) 及び ( ③ )、( ④ ) 及びこれに類するものの中から、( ⑤ ) に適応し、かつ救急現場に ( ⑥ ) ものを選定する。ただし、( ⑦ ) 又はその家族、同僚、知人等から ( ⑧ ) があつた場合、( ⑤ ) により ( ⑨ ) を必要とすると判断した場合その他やむを得ない場合はこの限りではない。

2 前項に定める傷病者の搬送先の選定は、原則として ( ⑩ ) が行ふ。

③	救急診療所	⑥	最も近い
②	救急病院	⑤	傷病者の症状
①	救急病院等を定める省令	④	救命救急センター
⑦	傷病者	⑧	依頼
⑩	隊長	⑨	専門的な医療

【解答欄】> 各1点 I ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩順不同

みなみ：次は関係機関との協力についての問題よ!連携あつての現場活動よ!

### 第2問

救急規程運用要綱第7条に規定する「現場保存等」に関する記述について、警察官が事故現場で立ち会う場合は当該警察官の指示によるものとするが、その他の場合について記述してください。(10点)

(4)	その他現場に存在するものの証拠価値が滅失しないよう必要な措置を取ること
(3)	事故現場に目撃者等の関係者がいる場合は、住所及び氏名を聴取し、警察官の到着まで現状のまま保存すること
(2)	傷病者の救護に当たつては、現状を変更しないように注意すること
(1)	現場保存の必要があると認められる場合は、当該場所に関係者以外の者が立入らないよう必要な措置を取ること

【解答例】第7条

### 第3問

大阪市消防局救急規程第24条に規定する「医師の同乗要請」に関する記述について、医師に救急車への同乗を要請することができる要件を2つ列記してください。(10点)

・ 傷病者の状態から医師の同乗が必要であると認める場合
・ 病院搬送を行う場合

【解答例】> 各5点



今日は雪がちらつているわ!こんな日は、家にもって勉強しましょ♥  
やる気が起きないときは音読から始めるのがおすすめよ♥

# PLEASE CALM DOWN

## 英語で話そう



### 高齢者の事故

転倒事故

フォーリング アクシデント  
**falling accident**

半数以上が家の中で発生しています  
モア ザン ハーフ オカー  
**More than half occur**

イン ザ ハウス  
**in the house.**

約4割が入院を要します。  
アバウト フォーティパーセント リクワイアー  
**About 40% require**

ホスピタライゼーション  
**hospitalization.**

日本国内で、お住まいになって、  
仕事に就かれています外国人が多数おられます。  
防火指導、防火訪問等を実施する機会も増加しています。  
適切な指導を行うことが、安全安心につながっていきます。  
今回は、救急車が必要になるような病気やケガ等を、  
ほんの少しの注意や心がけで、防ぐ取り組み「予防救急」の  
基本的なフレーズを紹介させていただきます。

TALKING

乗り物に乗り降りする時には、  
足元の段差に気をつけましょう。

ウェン ゲティング オン アンド オフ ザ ビークル  
**When getting on and off the vehicle,**  
ビー ケアフル オフ ザ ステップス アット ユア フィート  
**be careful of the steps at your feet.**

TALKING

体調不良時の入浴は控えましょう。  
プリーズ リフレイン フロム テイクング ア バス  
**Please refrain from taking a bath**  
ウェン ユー アー ノット フィーリング ウェル  
**when you are not feeling well.**

TALKING

脱衣場、浴室内の適切な温度調節を  
行いましょう。

レッツ アジャスト ザ テンパラチャー  
**Let's adjust the temperature**  
プロパリー イン ザ ドレッシング ルーム アンド バスルーム  
**properly in the dressing room and bathroom.**

TALKING

小さく切ってよく噛んでから飲み込みましょう。  
カット イット イントゥ スモール ピースズ チュー イット ウェル  
**Cut it into small pieces, chew it well,**  
アンド ゼン スワロウ イット  
**and then swallow it.**

TALKING

立ち上がる時には、  
近くのものにしっかりつかまりましょう。

ウェン ユー スタンド アップ ホールド オントゥ  
**When you stand up, hold onto**  
サムシング ニアバイ  
**something nearby.**

### 窒息・誤飲の原因

ライス ポリッジ  
おかゆ類 **rice porridge**  
ライス ケーキ  
餅 **rice cake**  
パッケージ ラッピング  
包み・袋 **package, wrapping**  
ライス ケーキ  
餅 **rice cake**  
メディスン  
薬剂等 **medicine**  
ベジタブル フルーツ  
野菜・果物 **vegetable fruit**  
デンチャーズ  
入歯 **dentures**  
ブレッド  
パン **bread**

リスニング動画





## ◆◆◆ 口呼吸に注意 ◆◆◆

朝起きたときに、のどの痛みを感じることはありませんか？これは、寝ている間の口呼吸が原因のひとつかもしれません。長時間マスクをつける生活が長くなりましたが、マスクをしていることでの息苦しさから口呼吸の原因になる場合もあります。

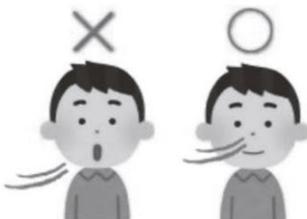
## チェックしてみましょう

## 1つでも当てはまると、口呼吸の可能性あります

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 鼻づまりがある       | <input type="checkbox"/> 起きたときに口が乾いている |
| <input type="checkbox"/> 口の中が乾きやすい     | <input type="checkbox"/> 起きたときにのどが痛い   |
| <input type="checkbox"/> 集中すると口が開いている  | <input type="checkbox"/> 起きたときに口臭がある   |
| <input type="checkbox"/> 唇が乾いている、荒れている | <input type="checkbox"/> 寝ている間によだれが出る  |

## 口呼吸だと…

- ・風邪をひきやすくなる
- ・いびきをかきやすくなる
- ・眠りが浅くなりやすい
- ・虫歯になりやすい



## 鼻呼吸だと…

- ・体内に入ってくるホコリ、ウイルス、細菌を減らす
- ・外から入る空気をちょうど良い温度と湿度にする

今、あなたの“舌の先”は、  
口の中のどこにくっついてますか？  
正しい舌の位置は、上あごの天井です。  
この位置に舌があると、鼻呼吸しやすくなります。



慢性的にうまく鼻で呼吸できないときは、耳鼻科に相談しましょう。

マスクをしているときに無理に口を閉じる必要はありませんが、マスクを外しているタイミングでは意識してみましょう。寝ているときはコントロールできないので、加湿する、枕元に水分を置いておく、口元に貼るテープを使ってみる方法もあります。

# 救命講習

救命入門コース・普通救命講習【Ⅰ】・【Ⅲ】 開催日程表（令和4年3月）

	北 6372-0119	都島 6923-0119	福島 6465-0119	此花 6461-0119	中央 6947-0119	西 4393-0119	港 6573-0119	大正 6552-0119	天王寺 6771-0119	浪速 6641-0119
R4年 3月	1日 I 夜間	24日 I 夜間	6日 I 午後	27日 I 午前		8日 I 夜間		5日 I 午前	21日 I 午後	19日 I 午後

	西淀川 6472-0119	淀川 6308-0119	東淀川 6320-0119	東成 6971-0119	生野 6731-0119	旭 6952-0119	城東 6931-0119	鶴見 6912-0119	阿倍野 6628-0119	住之江 6685-0119
R4年 3月	5日 I 午後		6日 I 午前	20日 I 午前		26日 Ⅲ 午前		11日 I 夜間		
			27日 入 午後							

	住吉 6695-0119	東住吉 6691-0119	平野 6790-0119	西成 6653-0119	水上 6574-0119	大阪消防振興協会 6459-1466			阿倍野防災センター 6459-1466	
R4年 3月		13日 I 午前		12日 Ⅲ 午後		6日 Ⅲ 午前	15日 I 夜間	26日 I 午前	13日 Ⅲ 午前	
						12日 I 午前	18日 Ⅲ 午前		13日 I 午後	

- ・振興協会及び阿倍野防災センターで実施の講習は、大阪消防振興協会(06-6459-1466)まで、各消防署にて実施の講習は各消防署へお申し込みください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、各講習の中止・追加等の可能性があります。
- ・最新情報は大阪市消防局のホームページをご覧ください。

## 【講習時間】

入門コース 午前9:30～11:00 午後13:30～15:00 夜間18:30～20:00

普通救命講習Ⅰ・Ⅲ 午前9:30～12:30 午後13:30～16:30 夜間18:00～21:00

※大阪消防振興協会で開催される午前の講習時間については9:00～12:00となります。

※各講習の受講者数や講習の進行状況によっては、講習時間が短縮もしくは延長する場合があります。

※講習時間に遅れますと、修了証の交付ができない場合がございますので、開始時間を厳守していただきますようお願い致します。

## 【講習内容】

入門コース …胸骨圧迫とAEDの使い方を中心に学べ、短時間の講習希望の方向けです。

普通救命講習Ⅰ…「AEDの使い方」を含む心肺蘇生法を学べる講習。主に成人に対する処置の方法を学べます。

普通救命講習Ⅲ…「AEDの使い方」を含む心肺蘇生法を学べる講習。主に乳幼児及び小児に対する処置の方法を学べます。

※入門コース参加者には参加証が交付されます。

※普通救命講習Ⅰ・Ⅲの講習修了者には修了証が交付されます。



FROM FIRE STATION



記事 掲載月

【特集】

Table listing various articles under the 'Special' section, including reports from Osaka Fire Department and national fire service activities.

【その他】

Table listing miscellaneous news items, including reports on fire incidents, rescue operations, and administrative matters.

震災に伴う火災調査

Table listing articles related to fire investigations following earthquakes, including reports on damage and safety measures.

【安全賞】

Table listing safety awards given to individuals and teams for their contributions to fire safety and rescue operations.

大阪消防 (Osaka Fire) information box containing contact details, publication information, and organizational structure.

ご愛読者の皆様へ

# 大阪消防編集部からお知らせ



毎月、ご愛読頂きまして有難うございます。

本誌は、令和3年5月号から令和4年4月号までの年間購読という事で発行しておりますが、途中から購読希望のお問い合わせが、数多く参りまして喜んでおります。つきましては、購読希望の方がおられましたら「大阪消防」編集部までご一報頂きますれば幸甚に存じます。

なお、購読中止のご連絡がございましたら、自動的に購読の継続をさせていただきます。購読を中止される方は、**3月31日まで**に下記編集部までお手数ですがご連絡下さいますようお願い致します。

また、バックナンバー等、1冊からご購入頂けますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

年間購読料 5,280円 (税込)

年間購読料を納めて頂きますので、途中月の購読中止時につきましても、購読料の返戻金はございません。

大阪市消防局 企画部企画課 大阪消防編集部

TEL: **06-4393-6036** Eメール: **pa0110@city.osaka.lg.jp**

〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54

## 大阪消防 年間購読料 お支払い方法ご案内

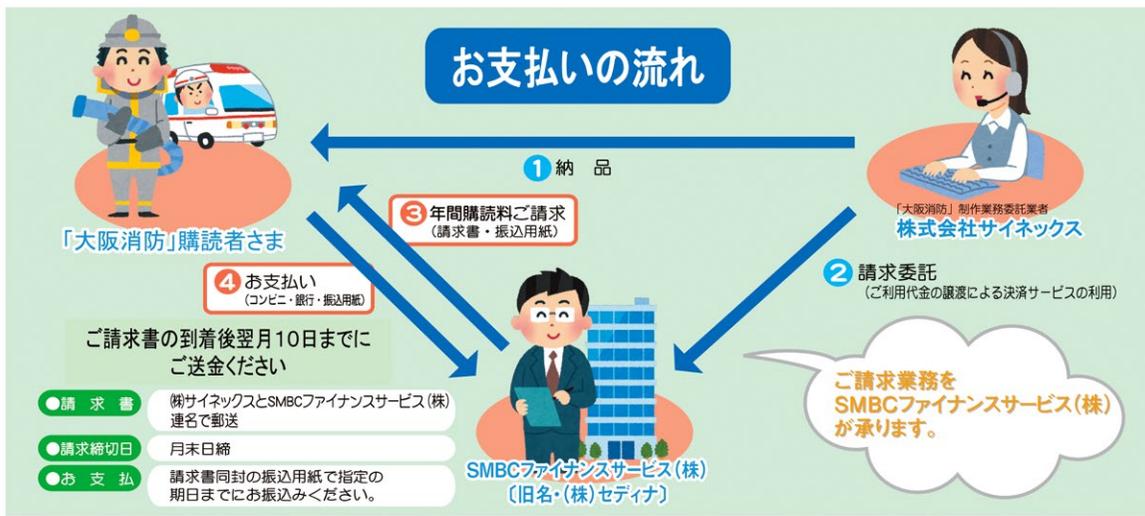
いつも「大阪消防」をご愛読いただきありがとうございます。ご覧いただいております「大阪消防」は、(株)サイネックスが制作を担って皆様にお届けいたしております。

年間購読料のお支払い方法は、サイネックスの回収業務提携先の「SMBCファイナンスサービス(株)」より、後日お支払いに関するご案内(ご請求書/コンビニ・金融機関振込用紙付)が郵送されますので、ご確認を賜り同封の振込用紙にてご送金のごお願い申し上げます。

なお「大阪消防」は、お客様からの購読中止のご連絡があるまで、自動的に購読を継続させていただいております。新規購読のお申込み、ならびに購読中止のお申し出は、大阪消防編集部までご連絡ください。

※見積書等、必要とされます方は大阪消防編集部まで、ご連絡ください。

大阪消防編集部 (06-4393-6036)



# プロ 目線

大阪消防振興協会では  
消防のプロ組織として

様々なニーズに応じた  
防災用品を用意して  
います。

自主防災組織の備蓄  
品として、会員等への  
記念品として

まずはお電話で相談し  
てください。



パッケージの一例  
帰宅困難者支援セット 1640円

〒5500002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目24番18号  
一般財団法人大阪消防振興協会  
物販担当 TEL06-6459-1456 FAX06-6459-1458

FIRE FIGHTERS SHOP



コロナ禍でも災害が頻  
発しています。

集合して実施する防災  
訓練には苦慮します。

こんな時こそ万一の  
「備え」の充実を。

家族構成などに応じて  
災害時に必要となる  
物品も異なります。

# 防災 用品

## Facebook



当局が実施する各種イベントの  
お知らせや開催の様様をお届け！



## Twitter



主に緊急情報や火災予防、  
予防救急に関するお知らせをお届け！



## 大阪市消防局

みなさま、たくさんの  
フォロー&いいね！  
よろしくお願いします

大阪市消防局では現在、公式 SNS を4つ運用しており、  
それぞれのツールで最新の情報をお届けしています。

## 公式 SNS



フォトコンテストや消防隊の訓練の  
様子を写真や動画にてお届け！

## Instagram



当局が実施する各種イベントや  
火災予防啓発などに関する動画をお届け！



## YouTube